

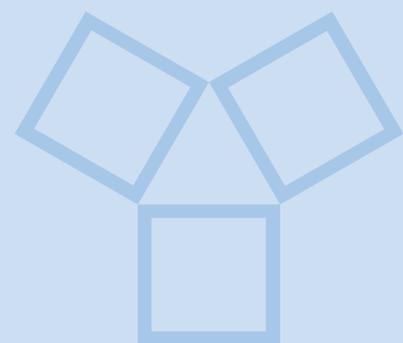
# 2015

平成 27 年度

## 横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2015 – March 2016



YOKOHAMA MUSEUM OF ART

# 2015

平成27年度

## 横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2015 – March 2016



## 序

平成27年度、横浜美術館では、美術館のオリジナリティと発信力を強調し、また多様な組織との連携や市民協働を重視した活動を館全体で実施できたことが、大きな特徴です。今までの活動が評価され、横浜美術館は本年度、地域創造大賞の総務大臣賞を受賞いたしました。

今年度の企画展4本は、それぞれ、一人のアーティストに焦点を絞り、そのユニークな創造力を国内外に発信できるよう、横浜美術館ならではのオリジナリティを重視した個展を実施しました。春は中堅現代美術作家の石田尚志の個展、夏は国際的な現代美術界をリードする蔡國強の個展を開催し、横浜美術館の空間を活かしたダイナミックな展示を実現することができました。秋は横浜ゆかりの日本画家である故・中島清之の大回顧展を、そして冬は、国際的に活躍する現代美術作家、村上隆の膨大なコレクションを初めて大規模に紹介する極めてユニークな展覧会を実施しました。また New Artist Picksでは、荒木悠を取り上げ、多くの来場者を得ることができました。

美術館教育ではボランティア活動を拡張し、定期的にボランティアによる鑑賞のためのトークなど活動の充実を図っています。また子ども時代に美術館が身近になるよう、小・中学生の鑑賞の機会を増やしました。中・高校生が小学生を対象に企画・実施する展示ツアーとワークショップも、平成26年度以降続けています。

子どものアトリエや市民のアトリエは、従来の美術館内での創作に加え、造形支援活動を外に広げ、学校、病院、高齢者福祉施設などへのアウトリーチも実施しました。

今年度は大学連携も広がり、蔡國強展では東京藝術大学大学院や横浜美術大学との協力により、映像制作や展示作品制作に学生の力が発揮されました。高齢者福祉施設訪問も横浜国立大学、教育専攻の学生と取り組み、参加者個人に合わせた対応を心がけています。

また広報活動も限られた予算で工夫を重ね、横浜美術館ならではの力を発揮しました。特に、蔡國強展では、館内での火薬爆破を取り入れた制作過程をテレビ中継するなど、告知効果を引き出しています。SNSによる発信も、Twitterのフォロワーが12万人に迫り、国内の美術館では高順位です。広報・渉外の活動の充実は当館の発信力を支えていると言っても過言ではないでしょう。

今年度は、ビジターサービスの充実を目指した活動も少しずつ始動しています。館内アナウンスや印刷物も見直し、託児サービスも試験的に実施しました。

横浜美術館は魅力ある企画事業を核として、なお一層、多様な方々に対して美術の魅力を伝えることができるよう、「充実した体験の場」と「心地良さ」を意識しながら、美術館全体の環境整備に努めてゆく所存です。

横浜美術館館長 逢坂恵理子



# 目次

<b>基本方針・沿革</b>	7
<b>展覧会事業</b>	
概要	9
企画展1 石田尚志 渦まく光	10
企画展2 蔡國強展: 帰去来	12
企画展3 横浜発 おもしろい画家: 中島清之一日本画の迷宮	14
企画展4 村上隆のスーパーフラット・コレクション — 蕭白、魯山人からキーファーまで—	16
横浜美術館コレクション展 2015年度第1期	18
横浜美術館コレクション展 2015年度第2期	20
横浜美術館コレクション展 2015年度第3期	22
New Artist Picks 荒木悠展 複製神殿	24
<b>調査研究・普及活動(個人)</b>	26
<b>美術情報センターの活動</b>	29
<b>教育普及事業</b>	
概要	31
鑑賞サポート	32
子どものアトリエ	36
市民のアトリエ	39
<b>市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業</b>	
市民協働	42
地域社会や市民生活に貢献する事業	44
<b>美術品の収集、保存・修復、貸出</b>	
収集	47
保存・修復	48
貸出	49
<b>広報の活動、外部と連携した事業</b>	
広報	54
外部と連携した事業	56
<b>来館者へのおもてなし</b>	58
<b>国際的な交流・発信</b>	60
<b>資料</b>	
入館者数・収支	63
役員等・組織図	64
職員名簿	65
条例・施行規則	66
施設概要・利用案内	71

## 注

本年報では、各展覧会を一部下記の略称で表記しています。

「石田尚志 渦まく光」… 石田尚志展

「蔡國強展: 帰去来」… 蔡國強展

「横浜発 おもしろい画家: 中島清之一日本画の迷宮」… 中島清之展

「村上隆のスーパーフラット・コレクション」… 村上隆コレクション展

「横浜美術館コレクション展」… コレクション展

「New Artist Picks 荒木悠展 複製神殿」… 荒木悠展



## 基本方針・沿革

### 基本方針：国際都市横浜にふさわしい世界に開かれた美術館を目指して

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、横浜市との政策協働による指定管理者制度に基づき、平成25年度から10年間にわたり横浜美術館の運営を担っています。10年間にわたる重点項目として、「発信力の強化」「教育プログラムの強化」「市民とつながるプログラムの強化」「営業力の強化」「経営基盤と人材の強化」の5つを定め、次に掲げる美術館を目指しています。

- ・市民の誰もが美術に親しみ、多くの市民に「観る」「創る」「学ぶ」機会を提供することにより、市民の創造性を育み、心豊かで活力に満ちた生活の実現に貢献する美術館。
- ・世界各国の美術館や美術関係者などとのネットワークの強化や国際交流を促進するとともに、横浜独自の魅力的で質の高い美術文化を国内外に発信することにより、国際都市横浜の魅力とアイデンティティの確立に貢献する美術館。
- ・市民、学校、NPO、企業等の様々な立場や年代、属性を持つ人々と協働することにより、市民から親しまれ、市民が集う、地域に開かれた美術館。
- ・未来を担うこどもたちの創造性を育むため、地域の学校や大学などと連携した取組みを進め、文化芸術教育の中心的な役割を担う美術館。

### 沿革

昭和62年10月	運営組織として財団法人横浜市美術振興財団設立
昭和63年3月	建物竣工
9月	横浜美術館条例制定
平成元年2月	外構工事完了
3月25日	美術館開設(横浜博覧会施設として)
11月3日	横浜美術館条例施行・開館
平成14年4月	運営組織が財団法人横浜市文化振興財団と統合され、財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成18年4月	管理運営に指定管理者制度が導入され、財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。(2年間)
平成20年4月	横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント共同事業体が指定管理者となる。(5年間)
平成21年7月	財団法人横浜市芸術文化振興財団が公益法人として認可され、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成25年4月	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。(10年間)



## 展覧会事業

### 概要

横浜美術館の展覧会事業では、概ね、年4回の企画展、年3回のコレクション展、年1回のNew Artist Picksの展覧会を開催しています。

各展覧会とも以下のような方針を持っていますが、コレクションをベースにする企画展や、企画展と連動したテーマのコレクション展など、相互に繋がりをもたせ、横浜美術館ならではの展覧会を発信しています。

### 企画展

#### [展覧会の方針]

横浜美術館は下記の基本方針により企画展を立案・実施しています。

- 1 国際港都横浜にふさわしい世界的な視野の企画。
- 2 地域の人々が現代美術に親しみ、現代美術に対する理解を促すような企画。
- 3 横浜と日本写真史の関係を重視し、国際的視野における現代までの写真を多角的にとらえた企画。
- 4 近代日本の美術および横浜ゆかりの美術展。特に原三溪ゆかりの作家を重視しつつ、開港以来の洋画・日本画の流れを歴史的にとらえた企画。また、横浜出身または在住作家を中心に、横浜の美術史を多角的に紹介する企画。
- 5 建築、工芸、デザインなど生活に密着した分野の企画。

(平成27年度4展合計入場者数:206,018人)

### コレクション展

#### [展覧会の方針]

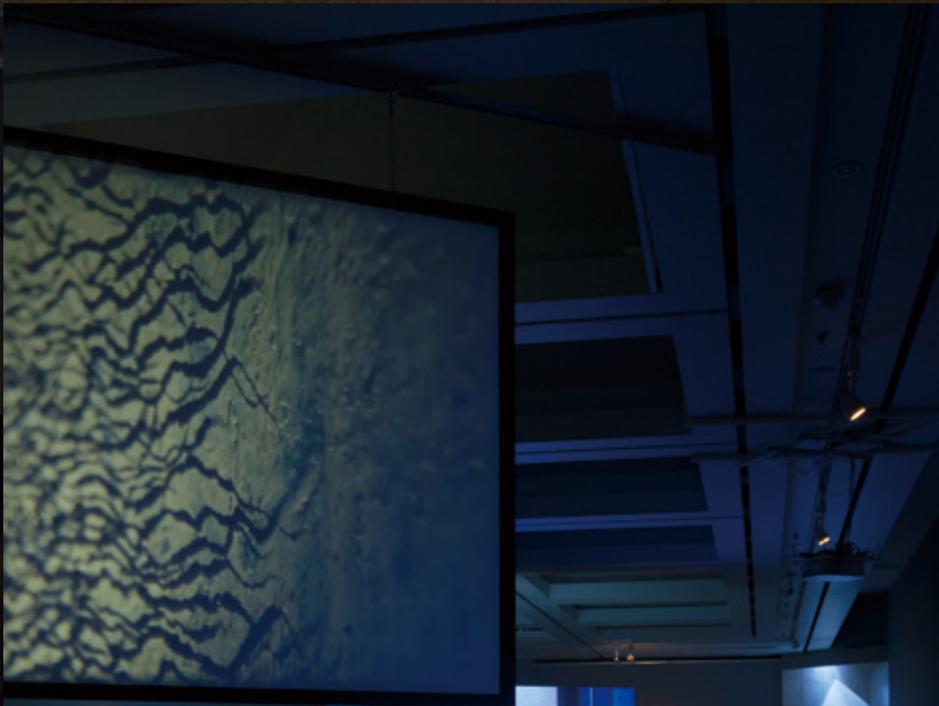
コレクション展では、年間を3期に分けて所蔵品を紹介しています。当館の収集方針に基づき、分野ごとの特徴をわかりやすく展示しています。写真展示室では、約4,000点ほどの写真のコレクションからテーマを設定し、世界の写真芸術を紹介しています。

(平成27年度3展合計入場者数:230,019人)

### New Artist Picks

3年ごとに横浜美術館を会場の一つとして開催される横浜トリエンナーレを視野にいれて、ユニークな活動を展開しつつある有望な若手アーティストを独自の視点で選出し紹介しています。

(平成27年度入場者数:13,357人)



企画展1 石田尚志 渦まく光

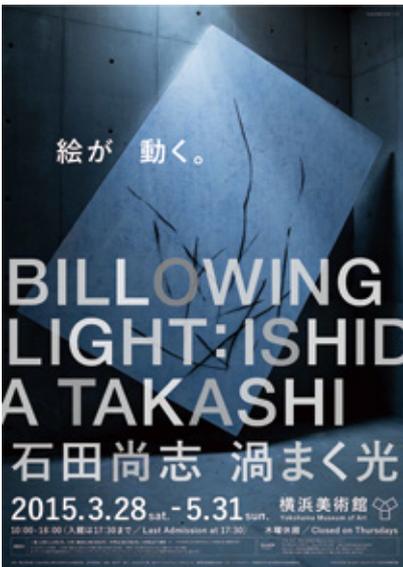
石田尚志（1972年生まれ）は、1990年代から本格的な創作活動をスタートし、絵画、映像、パフォーマンスなどの形式を越境しながら独自の表現スタイルを築き上げてきた画家／映像作家です。2006年には横浜美術館で4ヶ月にわたる滞在制作を行い、それ以降、映像の世界のみならず現代美術の領域でも耳目を集める存在となりました。

石田にとって初の大規模個展となった本展では、当館での滞在制作によって生まれた《海の壁―生成する庭》（2007）をはじめとする主要作品に3つの新作インスタレーションを加えた約30点を、「絵巻」「音楽」「身体」「部屋と窓」という4つのキーワードのもとに展示し、20年余の創作の軌跡を俯瞰しました。

加えて、美術館正面広場でのライブドローイングをはじめ、上映&トーク、ワークショップなど多彩なイベントを開催し、「展示」にとどまらないその多面的な表現活動に触れる機会を設けました。また、それらを詳細にレポートした展覧会特設サイトも好評を博しました。

さらに、本展出品作品を六本木街中のタワー型駐車場壁面に投射した「六本木アートナイト2015」でのタイアップ展示をはじめ、外部機関との連携にも注力し、広範な層に向けて本展への注目を喚起しました。

- 主催：横浜美術館、読売新聞社
- 後援：横浜市
- 協力：みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ  
首都高速道路株式会社、タカ・イシイギャラリー  
多摩美術大学 造形表現学部映像演劇学科  
\*平成26年度[第18回]文化庁メディア芸術祭協賛事業
- 会期：平成27年3月28日(土)-5月31日(日)
- 開催日数：56日
- 観覧料：一般1,500円、大学・高校生900円、中学生600円  
小学生以下無料  
\*4月4日(土)は無料
- 入場者数：23,658人
- 出品作品数：49件
- 出展作家：1人  
石田尚志
- カタログ：152頁  
発行：株式会社青幻舎  
編集：網野奈央 (torch press) / 森かおる (青幻舎)  
執筆：松永真太郎「終わりのないドローイング または石田尚志の反復の軌跡」  
豊見山 愛<sup>アヒ</sup>「青の見える場所―石田尚志と沖縄」



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物・カタログデザイン  
古屋真広 (Werkbund Inc.)

撮影：加藤 健 (p.10 ♡ 除く)



## 企画展2 蔡國強展：帰去来

ニューヨークを拠点に、現代美術界で最も活躍しているアーティストのひとり、蔡國強（1957年、中国福建省泉州市生まれ）による、日本国内では7年ぶりとなる大規模な個展「帰去来」を開催しました。展覧会タイトルは、中国の詩人、陶淵明の「帰去来辞」から引用したもので、作家活動の出発点となった土地への帰還、人間としての原点復帰を意図しています。

展覧会は、作家の最も新しい側面を紹介することを目指して、新作と日本初公開の近作および記録映像など計13件で構成されました。新作は、和紙による火薬絵画《夜桜》、カンヴァスによる火薬絵画の連作《人生四季》、テラコッタの立体作品《朝顔》および子ども向けのオンライン・ゲーム《アート・アイランド》で、火薬絵画は当館のグランドギャラリーで爆破制作を行い、NHK総合テレビで生中継されました。《朝顔》は横浜美術大学との協働で制作され、延べ68名の学生が朝顔の花や葉の制作に関わりました。近作としては、4枚組の磁器のレリーフ《春夏秋冬》と99匹のオオカミのレプリカとガラスの壁によるインスタレーション《壁撞き》が出品され、後者は第6展示室全体を使ったダイナミックな展示が話題となりました。

本展には多くの市民や学生が関わり、火薬絵画の爆破制作に延べ122名のボランティアが参加しました。また、展覧会のドキュメンタリー映像は東京藝術大学大学院映像研究科との連携によって制作・公開され、来場者から好評を博しました。

- 主催**：横浜美術館、読売新聞社
- 後援**：中国大使館、横浜市、一般社団法人日本福建経済文化促進会
- 特別協賛**：寺田倉庫
- 協賛**：華為技術日本株式会社（ファーウェイ・ジャパン）株式会社資生堂
- 特別協力**：日本航空
- 協力**：ドイツ銀行グループ、キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
弁護士法人BridgeRootsブリッジルーツ、株式会社キクシマ  
東京藝術大学大学院映像研究科 桂英史研究室 | geidaiRAM  
横浜美術大学、みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン  
FMヨコハマ、首都高速道路株式会社
- 会期**：平成27年7月11日(土) - 10月18日(日)  
\*9月16日(水)・18日(金) は20時まで夜間開館
- 開催日数**：86日
- 観覧料**：一般1,500円、大学・高校生900円、中学生600円  
小学生以下無料
- 入場者数**：91,952人
- 出品作品数**：13件
- 出展作家**：1人  
蔡國強
- カタログ**：176頁  
発行：モ・クシュラ株式会社  
編集：大谷薫子(モ・クシュラ株式会社)  
執筆：逢坂恵理子「蔡國強一帰去来」  
木村絵理子「時代を超えて残るもの一火薬絵画の行先」  
沼田英子「自然の循環」  
中村尚明「モノメンタル・イメージとしての壁—《壁撞き》によせて」



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物・カタログデザイン  
松永 路

撮影：加藤 健(p.12 ❖除く)



### 企画展3 横浜発 おもしろい画家：中島清之—日本画の迷宮

横浜ゆかりの日本画家、中島清之（1899-1989）の回顧展を開催しました。清之は日本美術院で4度の日本美術院賞を受賞し、後に同人として活躍しました。常に新しい手法に挑戦し続けたことから「変転の画家」とも呼ばれ、最晩年まで旺盛な好奇心を絶やしませんでした。本展では、日記やスケッチブックの調査に基づき、作品の制作背景を丹念に読み解くことを意図しました。

「第1章 青年期の研鑽」では、若い日の清之が古画の模写や屋外写生によって高い描写力を獲得していく様子を紹介しました。さらに次第に自らの感性を活かした大胆な構図の作品を生み出す過程を、《花に寄る猫》《庫裏》などに探りました。「第2章 戦中から戦後へ」では、戦時下における制作環境の制約を乗り越えて生み出された、清之生得のユーモアと情感を滲えた人物像を紹介しました。洗練された色彩と構図による《おん祭》《黄街》などの連作や、疎開先の長野県小布施村で描いた作品群、さらに、戦後への決意を伝統的な主題に込めた《方広会の夜》などを展示しました。「第3章 円熟期の画業」では、国内外の美術の動向を敏感に察知しながら、伝統と現代を常に往還し、多彩な作品をエネルギーに創造する晩年の軌跡を追いました。《顔》《喝采》《緑扇》などの代表作のほか、個人愛蔵の小品群、集大成である三溪園・臨春閣の襖絵などを展示しました。

会期中、特に市内の文化施設や各区役所を訪問して周知活動を細やかにを行い、地域ゆかりの画家の魅力を広く市民に伝えることに注力しました。

**主催**：横浜美術館、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)  
**後援**：横浜市  
**助成**：公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団  
**協力**：みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ  
 首都高速道路株式会社  
**会期**：平成27年11月3日(火・祝)～平成28年1月11日(月・祝)  
 \*1月3日(日)は開館

**開催日数**：56日

**観覧料**：一般1,200円、大学・高校生800円、中学生400円  
 小学生以下無料、65歳以上1,100円  
 \*11月3日(火・祝)、1月3日(日)は無料

**入場者数**：30,157人

**出品作品数**：180件

**出展作家**：1人  
 中島清之

**カタログ**：208頁

発行：神奈川新聞社

編集：横浜美術館学芸グループ

執筆：逢坂恵理子「はじめに」

日夏露彦「批評的序論」

内山淳子「中島清之の生涯—崇高と俗の『迷宮』を歩み続けた画家」

太田雅子「中島清之と瀬戸内海」

柏木智雄「《方広会の夜》寸感」



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物デザイン  
 柿木原政広、犬島典子(10inc.)

カタログデザイン  
 株式会社アイム

撮影：加藤 健(p.14 ❖除く)



企画展4 村上隆のスーパーフラット・コレクション—蕭白、魯山人からキーファーまで—

村上隆(1962年生まれ)は、現代日本を代表するアーティストとしての精力的な創作のかたわら、キュレーター、ギャラリスト、プロデューサーなど多岐にわたる活動を展開してきました。近年では、独自の眼と美意識で国内外のさまざまな美術品を積極的に蒐集しており、そのコレクションは現代美術をはじめ、日本の古典美術、アジアやヨーロッパのアンティーク、現代陶芸や民俗資料にまで及んでいます。本展では、その知られざる村上隆のコレクションを初めてまとまった形で紹介しました。

時代、地域、価値の優劣といった既存の区分、ヒエラルキーを無化し、さまざまなジャンルの展示物が展示室内外に並列された光景は、村上隆の活動のキーワード「スーパーフラット」を体現するものでした。展示総数1,000点を超える圧倒的な物量を通して、村上隆の美意識の源泉を浮かび上がらせるとともに、既存の美術の文脈や、ものの価値が生成されるメカニズムについて再考を促す機会となりました。

会期中には、村上隆が自身のコレクションについて語る講演会を3回開催、また特設ウェブサイトでは村上が出品作品から計10点を紹介する動画ページがアップされ、いずれも大きな反響を呼びました。

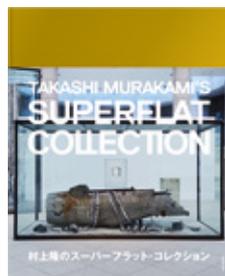
- 主催**：横浜美術館、日本経済新聞社
- 後援**：横浜市
- 協力**：みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ  
首都高速道路株式会社
- 会期**：平成28年1月30日(土)-4月3日(日)  
\*2月11日(木・祝)・12日(金)は開館  
4月1日(金)・2日(土)は20時まで夜間開館
- 開催日数**：57日
- 観覧料**：一般1,500円、大学・高校生900円、中学生400円  
小学生以下無料、65歳以上1,400円
- 入場者数**：60,251人
- 出品作品数**：1,324件
- 出展作家**：175人
- カタログ**：444頁(予定)  
発行：有限会社カイカイキキ  
編集：鈴木芳雄、藤原えりみ、小林沙友里、藤田麻希  
執筆：逢坂恵理子「序にかえて」  
村上隆「村上隆、自らのコレクションを語る」  
三木あき子「芸術への問い、芸術のちから—スーパーフラット・コレクションから見えるもの」  
柏木智雄「コレクションの最果て」  
熊倉功夫「千利休と村上隆」



ポスター



チラシ



カタログ(刊行イメージ)

広報印刷物デザイン  
小沼孝志

カタログデザイン  
グルーヴィジョンズ

撮影：田中雄一郎(p.16 ❖除く)  
加藤 健(p.16 ❖)



# 横浜美術館コレクション展 2015年度第1期 身体からかんがえる コレクションにみる身体表現—現代美術を中心に

コレクション展第1期では、「身体」をテーマに展示を行いました。時代や文化背景によって人々の身体のとらえかたは異なります。本展では日本の現代美術を中心に、戦後から現代に至るまでの東西の作家による多彩な技法と視点に基づく身体表現を、6つの章により紹介しました。

展示室1では若手作家の作品とともに斎藤義重《内部》を展示し、作品に描かれる空間と鑑賞者との身体の関係について考察しました。展示室2、3では森村泰昌の「私の中のフリーダ」シリーズや石原友明《無題、1986》のように、写真によってとらえた作家自身の身体をモチーフとした作品や、衣服を素材とした平野薫のインスタレーション作品《Untitled -mother and baby-》など、身体をめぐる多様なアプローチを、ゆったりとした空間で紹介しました。写真展示室では、身体を巡って独自の作風を示した20世紀の写真家をピックアップし、写真における身体表現を概観しました。

会期中は関連イベントとして、いずれも当館収蔵後初出品となる三瀬夏之介氏と岩崎貴宏氏によるアーティスト・トークを開催し、これまでの制作にまつわるエピソードや、収蔵された作品の制作過程、作品に込められた思いが語られた貴重な機会となりました。

また、初の試みとしてこれらのトークの記録映像を財団の公式動画サイト「YAFチャンネル」において一般に公開し、コレクションに関する情報発信の幅を拡充しました。

身体からかんがえる  
コレクションにみる身体表現—現代美術を中心に

- 1 変幻する身体
- 2 顔と向き合う—ポートレート
- 3 とらえられた身体
- 4 入れかわる身体
- 5 そこにある身体
- 6 身体への眼差し—20世紀写真における身体表現

イサム・ノグチと近代彫刻

会 期：平成27年3月28日(土)-5月31日(日)

開 催 日 数：56日

入 場 者 数：27,284人

出 品 作 品 数：132件

出 展 作 家：47人

石原友明  
岩崎貴宏  
ウェストン、エドワード  
小作青史  
小谷元彦  
小野友三  
オルデンバーグ、クレス  
桂 ゆき  
金氏徹平  
川島秀明  
工藤哲巳  
ケルテス、アンドレ  
駒井哲郎  
斎藤義重  
ザツキン、オシツブ  
サマラス、ルーカス  
ジャコメッリ、マリオ  
高嶺 格  
グリ、サルバドール  
遅鵬  
テ・キリコ、ジョルジオ  
デュシェンヌ・ド・ブローニュ、ギユヨーム＝バンジャマン＝アマン  
中村ケンゴ  
奈良美智  
ノグチ、イサム  
ピカソ、バブロ  
平野 薫  
藤井健司  
ペーコン、フランシス  
ベルメール、ハンス  
ボワフアール、ジャック＝アンドレ  
本庄光郎  
マイブリッジ、エドワード  
マグリット、ルネ  
マッソン、アンドレ  
マティス、アンリ  
三瀬夏之介  
宮崎 進  
ミロ、ジョアン  
メイプルソープ、ロバート  
森村泰昌  
ヤーバー、ロバート  
湯原和夫  
ラム、ヴィフレド  
リクテンスタイン、ロイ  
ルフ、トーマス  
ロトチェンコ、アレクサンドル



# 横浜美術館コレクション展 2015年度第2期 戦後70年記念特別展示 戦争と美術 岡倉天心と日本美術院の作家たち ポール・ジャクレーと新版画

会期中に終戦記念日を迎えた本展では、「戦後70年記念特別展示 戦争と美術」をメインに、「岡倉天心と日本美術院の作家たち」「ポール・ジャクレーと新版画」の3つのテーマで296件を展示しました。

両大戦間の欧州で花開いた前衛芸術運動の影響から、日本でもシュルレアリスムを始め新たな表現に触発された美術家たちによる独自の前衛主義が形成されますが、それは次第に国家の弾圧の対象となり、やがて翼賛体制下で途絶するに至りました。多くの美術家たちが戦争とどう向き合い、戦前、戦中、戦後において表現はどうであったのか、さまざまな活動をする美術家の創作を絵画、写真を中心に展示しました。さらに美術情報センター所蔵の雑誌・書籍等の資料32件を併せて展示し、美術と戦争の関わりを多面的に紹介できるようにしました。

また、同時期の企画展「蔡國強展：帰去来」に合わせ、蔡氏が深い関心を寄せる、岡倉天心に師事した美術家たち、即ち当館所蔵の特徴となる横山大観らの日本画等を展示したほかに、浮世絵の復興と近代化を目指す新版画運動の中で特異な芸術世界を拓いたパリ生まれの浮世絵師、ポール・ジャクレーの作品群を、新版画の作家たちと併せて紹介しました。

## 戦後70年記念特別展示 戦争と美術

- 1 不穏な風景—1920年代から第二次世界大戦までの前衛美術と写真
- 2 焼け跡から—日本の戦後美術にみる戦火の記憶と傷跡
- 3 ふたたびの「前衛」—戦後日本美術の新たな展開

## 岡倉天心と日本美術院の作家たち

### ポール・ジャクレーと新版画

### イサム・ノグチと近代彫刻

会 期：平成27年7月11日(土)-10月18日(日)  
\*9月16日(水)・18日(金)は20時まで夜間開館

開催日数：86日

入場者数：106,236人

出品作品数：296件

出展作家：85人

アームストロング、ジョン	ダリ、サルバドール
アイゼンスタット、アルフレッド	鶴岡政男
荒川修作	テ・キリコ、ジョルジョ
アルプ、ハンス(ジャン)	ティックス、オットー
磯辺行久	常盤とよ子
伊東深水	ドミンゲス、オスカル
今井俊満	中川一夫
今村紫紅	中西夏之
内田武夫	中村研一
瑛九	中村 宏
エルンスト、マックス	名取洋之助
岡田謙三	ノグチ、イサム
小川原 脩	ハウスマン、ラウル
奥村泰宏	橋口五葉
オノサト・トシノブ	長谷川利行
オルデンバーグ、クレス	浜口タカシ
川口軌外	浜田知明
川瀬巴水	濱谷 浩
川端 実	林 忠彦
カンティンスキー、ヴァシリイ	菱田春草
北岡文雄	平櫛田中
北脇 昇	福沢一郎
木下孝則	藤田嗣治
木村伊兵衛	藤本四八
木村武山	ブラック、ジョルジュ
クレー、パウエル	ブランクーシ、コンスタンティン
グロッス、ジョージ	前田青邨
桑原甲子雄	マグリット、ルネ
小林古径	マツソン、アンドレ
斎藤義重	宮崎 進
佐伯祐三	ミロ、ジョアン
ザツキン、オシップ	元永定正
佐藤 敬	モホリ=ナジ、ラースロー
ザンダー、アウグスト	師岡宏次
篠原有司男	安田靉彦
清水登之	柳 幸典
下村観山	山村耕花
ジャクレー、ポール	湯原和夫
シュヴィッターズ、クルト	横山大観
シュミット、ヨースト	吉村益信
白髪一雄	レンガー=パッチュ、アルベルト
タトリン、ウラジミール	ロトチェンコ、アレクサンドル
田中敦子	



横浜美術館コレクション展 2015年度第3期 **神話とヌード／抽象と構成 ～工業化と都市のイメージ  
無名都市 ～現代の写真に見る匿名の風景  
コムデギャルソンの家具／大正・昭和の横浜から**

コレクション展第3期は、5つのテーマで構成しました。

「神話とヌード」では、〈美の象徴としての神々〉〈変身・変化の象徴としての神々〉〈聖と俗〉の3つのセクションを設け、ギュスターヴ・モローやポール・セザンヌなど西洋近代の画家たちの作品から、松井冬子や諏訪敦など日本画や現代の絵画まで、多様なヌードの表現を神話的テーマとの関係から紹介しました。

「抽象と構成 ～工業化と都市のイメージ」では、2部構成により、工業化が進む社会におけるイメージの変遷を紹介しました。〈構成主義と都市〉では、20世紀初頭、急速に変化していく都市の風景や、機械や工業製品に向けられた芸術家たちの視線に焦点をあて、構成主義、ダダやキュビズムなどの前衛的な芸術運動を牽引した作家たちの作品を展示しました。〈集積するイメージ〉では、20世紀後半のネオ・ダダやポップ・アートなど、主にアメリカを拠点に活動した作家たちの作品を紹介しました。

写真展示室では「無名都市 ～現代の写真に見る匿名の風景」と題し、現代の日本における匿名化する都市風景を捉えた、中平卓馬、清野賀子、米田知子の写真、金氏徹平の映像を紹介しました。併せて、ファッション・ブランドのコムデギャルソンが中平や清野の作品を店舗などで紹介してきたことに因み、「コムデギャルソンの家具」と題し、同社の家具を同じ空間内で展示しました。

また、「横浜発 おもしろい画家：中島清之一日本画の迷宮」展の会期中には、「大正・昭和の横浜から」と題して、おおよそ100年前に横浜で撮影された貴重な記録映像と、当時の横浜で生産された宮川香山の眞葛焼などの陶磁器を紹介しました。

**神話とヌード**

- 1 美の象徴としての神々ー古典絵画と絵画的写真におけるヌード
- 2 変身・変化の象徴としての神々ーモダニズムとヌードの多様化
- 3 聖と俗ー日本の絵画に見るヌード

**抽象と構成 ～工業化と都市のイメージ**

- 1 構成主義と都市
- 2 集積するイメージ

**無名都市 ～現代の写真に見る匿名の風景**

**コムデギャルソンの家具**

**大正・昭和の横浜から**

※ 期間限定展示：平成27年11月3日-平成28年1月11日

**イサム・ノグチと近代彫刻**

会 期：平成27年11月3日(火・祝)-平成28年4月3日(日)  
\* 休室：平成28年1月12日(火)-1月29日(金)  
1月3日(日)は開館  
4月1日(金)・2日(土)は20時まで夜間開館

開催日数：113日

入場者数：96,499人

出品作品数：206件 217点

出展作家：86人

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| アボット、ベレニス        | テ・キリコ、ジョルジオ     |
| アームストロング、ジョン     | デュラン、カロリュス      |
| 荒井寛方             | テルヴォー、ポール       |
| アルテグレーファー、ハインリヒ  | Dr. ラクラ         |
| アルプ、ハンス(ジャン)     | ドニ、モーリス         |
| 井上良斎(三代)         | ドマシー、ロベール       |
| ウォーホル、アンディ       | 中平卓馬            |
| 内田あぐり            | ノグチ、イサム         |
| エヴァンス、ウォーカー      | 長谷川 潔           |
| エルスト、マックス        | ハミルトン、リチャード     |
| エンネル、ジャン=ジャック    | ピカソ、パブロ         |
| 太田聰雨             | ピガール、ジャン=バティスト  |
| 小倉遊亀             | ピサロ、カミーユ        |
| オターソン、ジョエル       | フォルデンベルゲ=ギルデヴァ  |
| オルデンバーグ、クレス      | ルト、フリードリヒ       |
| 金氏徹平             | 藤田嗣治            |
| 鍋木清方             | ブラック、ジョルジュ      |
| ガボ、ナウム           | ブランクーシ、コンスタンティン |
| 川久保 玲            | ブロッキー、ベンジャミン    |
| カンディンスキー、ヴァシリー   | マグリット、ルネ        |
| クルーガー、バーバラ       | 松井冬子            |
| クレイ、パウル          | マッソン、アンドレ       |
| スターン、ダグ&マイク      | マツタ、ロベルト        |
| クナツパー、ゲルト        | マティス、アンリ        |
| グロツス、ジョージ        | 宮川香山(初代)        |
| グレーデン、ヴィルヘルム・フォン | 宮川香山(二代)        |
| ゴーギャン、ポール        | 宮川香山(三代[推定])    |
| 小林古徑             | 宮川香山(工房)        |
| サザランド、グレーム       | ミュンター、ガブリエーレ    |
| ザツキン、オシップ        | ミロ、ジョアン         |
| シーラー、チャールズ       | 守屋多々志           |
| シャセリオー、テオドール     | モロー、ギュスターヴ      |
| シュヴィッターズ、クルト     | 山中雪人            |
| ジョーンズ、ジャスパー      | 湯原和夫            |
| スタイケン、エドワード      | 米田知子            |
| 諏訪 敦             | ラウシェンバーグ、ロバート   |
| ストランド、ポール        | ラム、ヴィフレド        |
| 清野賀子             | ラルティエグ、ジャック=アンリ |
| セザンヌ、ポール         | リクテンスタイン、ロイ     |
| タトリン、ウラジーミル      | ルドン、オディロン       |
| ダリ、サルバドール        | レイデン、ルーカス・ファン   |
| タルボット、ウィリアム・ヘンリー | レジェ、フェルナン       |
| フォックス            | ローゼンクイスト、ジェームズ  |
| 月岡樂貴             | ロトチェンコ、アレクサンドル  |



## New Artist Picks 荒木悠展 複製神殿

将来活躍が期待される若手作家を紹介する展覧会「New Artist Picks(NAP)」は、年に一度、アートギャラリーなどを会場に開催しています。平成27年度は、アジアや欧米各地に滞在し、そこで出会った地域の歴史や文化を切り口に、史実と個人史の折り重なる映像作品を制作する、荒木悠を紹介しました。

本展では、「authenticity(真正であること)」をテーマに、アメリカ南部の地方都市ナッシュビルとギリシャの首都アテネにある「パルテノン神殿」を題材にした新作の映像インスタレーションを展示しました。荒木は今回、自身の第二の故郷であるアメリカ、ナッシュビルにあるパルテノン神殿の複製を出発し、「真正とは何に拠って定められるのか」という問いを抱えて、アテネにあるパルテノン神殿を目指しました。約1年をかけて制作された作品では、「オリジナルと複製」「伝播と誤訳」「西洋と東洋」など、作家にとって切り離すことのできないテーマが、パルテノン神殿を取り巻く巨大な歴史と絡み合いながら、ひとつの物語として結実しました。

また、Café小倉山では、アテネで撮影された新作の映像作品のほか、荒木が新作の制作過程で蒐集したオブジェ、書籍、写真や、制作スケッチなどを展示しました。

**主催:** 横浜美術館  
**会場:** アートギャラリー1、Café小倉山  
**助成:** 公益財団法人朝日新聞文化財団  
**協力:** Café小倉山、SNEHTA RESIDENCY  
**会期:** 平成28年2月26日(金)-4月3日(日)  
**開催日数:** 33日  
**観覧料:** 無料  
**入場者数:** 13,357人  
**出品作品数:** 5件  
**出展作家:** 1人  
 荒木 悠



DM



広報印刷物デザイン  
 阿部太一(GOKIGEN)

撮影: 山中慎太郎(Qsyum!、p.24 ❖除く)  
 加藤 健(p.24 ❖)

リーフレット

## 調査研究・普及活動（個人）

### 紀要

横浜美術館研究紀要

第17号、2015年

43頁

発行日：平成28年3月23日

発行部数：500部

掲載論文：

- ・「独立独歩のあゆみ—画家・平野杏子インタビュー記録 [前編：1930-1980] 齋藤里紗
- ・「[資料紹介] 下村観山画房日記『やまの上』(承前)」 柏木智雄



### 普及活動（個人）

#### ◎執筆・寄稿

逢坂恵理子

- ・「蔡國強展：帰去来」『新美術新聞』美術年鑑社、2015年8月21日号
- ・「第56回ベニスビエンナーレ香港館の展示・評価レポート」香港芸術発展局、2016年1月
- ・「差異の認識から共存の道へ—いま『グローバルに需要される』べきこと」CIMAM2015年次総会東京大会実行委員会、2016年4月
- ・「メトロポリタン美術館のグローバル・ミュージアム・リーダーズ・コロシアム (GMLC) に参加して」『博物館研究』日本博物館協会、2016年4月号

柏木智雄

- ・「歌え、もはや語るな—〈ガイガイ 宮崎進展〉によせて」『新美術新聞』美術年鑑社、2015年11月21日号

沼田英子

- ・「開港地の輸出工芸：芝山細工」『ジャポニスム研究』35号別冊

中村尚明

- ・「イサム・ノグチと彫刻史」『花美術館』花美術館、2015年9月第44号

八柳サエ

- ・「JAL (Japanese art librarian) プロジェクト2015 ソウル訪問記：韓国国立近現代美術館 MMCA (National Museum of Modern and Contemporary Art, Korea) ソウル館デジタル・アーカイブ訪問記」『アート・ドキュメンテーション通信』107号 (2015年10月25日発行)
- ・「『戦時体制下の美術教科書』の展示について」(コラム「視点」)『美術の窓』、2015年11月号、生活の友社

内山淳子

- ・「横浜発 おもしろい画家 中島清之展」『神奈川新聞』、2015年11月2日特集面
- ・「アート・トーク 中島清之《喝采》」『日本経済新聞』、2015年12月10日朝刊アートレビュー面
- ・「理想の風景 50年の醸成経た『竹林』(中島清之《緑扇》について)『神奈川新聞』、2015年12月7日文化面
- ・「変転の画家 抽象画から古典的表現へ」(中島清之《浄瑠璃 山城少掾》《浄瑠璃 鶴澤清六》《梅川》について)『神奈川新聞』、2015年12月11日文化面

端山聡子

- ・「創造性が芽吹く場に立ち会うよろこび—中高生の長期プログラムの実践から」『触発するミュージアム』あいり出版、2016年出版予定

襟川文恵

- ・コラム寄稿『湘南スタイル magazine』エイ出版、2016年5月号より連載

木村絵理子

- ・「アーティスト・インタビュー 丹羽良徳」『BT/美術手帖』美術出版社、2015年5月号
- ・「人生のドローイング」『大宮エリー EMOTIONAL JOURNEY』フォイル、2015年5月
- ・「フェルメールの空間 [李傑 (リー・キット) 展 The voice behind me]」『花椿』資生堂、2015年7・8月合併号
- ・「写真家・石川竜一とは」『BT/美術手帖』美術出版社、2015年7月号
- ・「アーティスト・インタビュー ティン・Q・レ」『BT/美術手帖』美術出版

### 収蔵品目録

収蔵品目録2014年(平成26年度)

32頁

発行日：平成28年3月23日

発行部数：500部



社、2015年10月号

- ・「横浜トリエンナーレの役割と横浜美術館」『ZENBI 全国美術館会議機関誌 Vol.9』全国美術館会議、2016年1月
- ・「アーティスト・インタビュー サム・デュラント」『BT/美術手帖』美術出版社、2016年2月号
- ・岡田利規「God Bless Baseball」レビュー『BT/美術手帖』美術出版社、2016年2月号
- ・「サイモン・フジワラ ホワイトデー」展レビュー『BT/美術手帖』美術出版社、2016年4月号

#### 庄司尚子

- ・「栗原亜也子 個展『Mind Games』」パンフレット評論、HRD ファインアート、2015年

#### 大澤紗蓉子

- ・「村山悟郎：『絵画的主体の再魔術化』から『監獄のファンタジー』へ」『監獄のファンタジー』記録集、特定非営利活動法人アートフル・アクション、2016年発行予定

#### 太田雅子

- ・「進取の気風 大佛の愛猫をモデルに」(中島清之《花に寄る猫》について)『神奈川新聞』、2015年12月8日文化面
- ・「門馬英美 推薦文」『PAT in KYOTO 第2回京都版画トリエンナーレ』同実行委員会、2016年3月

### ◎発表・講演会・シンポジウム

#### 逢坂恵理子

- ・講演会「世界への発信を目指して—なぜ今国際現代美術展か」国想い夢紡ぐ会、4月27日
- ・講演会「美術館が目指す鑑賞教育の可能性」『「美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修」10周年記念シンポジウム「美術館と学校 鑑賞教育のこれまでとこれから」』東京国立近代美術館、8月2日
- ・対談「まちとアートの結びつき」『創造都市ネットワーク 日本創造農村ワークショップ「芸術祭と地域再生」』新潟県十日町市珠川、8月4日
- ・講演会「横浜美術館と街のクリエイティブな関わり」『日経アカデミア×三菱一号館「都市と美術館」』、11月12日
- ・講演会「アートに関わる：展覧会をつくるという仕事—学芸員と美術館の可能性」『京都造形芸術大学大学院芸術研究科「芸術文化論持論」』、京都芸術大学 人間館、11月16日
- ・鼎談「カフェアオキ第18回『日本の美術館 これからどうする!? 第2弾』』国立新美術館、1月17日
- ・講演会「第2回目 大型国際展の時代を読み解く」『現代アートを知りつくす2015』京都造形芸術大学 東京藝術学舎、1月27日
- ・基調講演「美術館と子ども—拡張する子どものための教育プログラム @横浜美術館」『病児の遊びとおもちゃケア』日本グッド・トイ委員会、国立成育医療センター、3月6日
- ・講演会「アートはなぜ私たちに必要か—目標なき時代の指針」『経営ビジョン構想懇話会』日本生産性本部、3月15日

#### 沼田英子

- ・ジャポニズム学会第5回畠山公開シンポジウム『KOGEIとジャポニズム』発表「開港地の輸出工芸：芝山細工」、11月28日

#### 八柳サエ

- ・講演会「速水御舟とその周辺」展記念講演会「速水御舟、飛躍の前夜—今村紫紅と赤曜会」世田谷美術館、5月23日

#### 端山聡子

- ・シンポジウムパネリスト『松戸の美術振興を考える』松戸市教育委員会、11月22日

### ◎非常勤講師等

#### 柏木智雄

- ・横浜国立大学大学院都市イノベーション学府「近代美術論」春学期4月6日-9月30日
- ・明治大学理工学研究科新領域創造専攻「新領域創造持論1」7月2日
- ・京都造形芸術大学通信教育部和の伝統文化コース「絵画と日本文化b」9月26日、27日

#### 関 淳一

- ・神奈川県立弥栄高等学校芸術科美術専攻「美術館における鑑賞教育の実践」7月17日
- ・横浜市立大綱中学校進路学習「職業講話」9月10日
- ・茅野市美術館と一緒にサポートしませんか+3 きほん編「第3回講座 他のも美術館を見学しよう」2月7日

#### 山崎 優

- ・平成27年度神奈川県公立幼稚園・公立認定こども園新規採用教員研修講座「幼児の表現活動のあり方」5月12日
- ・町田福祉保育専門学校研修会「横浜美術館における、素材に関わる活動を通じた理論と実践」6月16日
- ・平成27年度磯子区保育士会研修会「保育現場で活かせる幼児の成長を支援する造形活動」6月27日
- ・神奈川県私立幼稚園連合会 平成27年度中堅教諭を対象とした絵画・造形に関する実技研修 7月22日
- ・横浜市教育委員会・横浜市小学校図画工作教育研究会 第67回夏季実技研修会「造形・美術体験ワークショップ」7月28日、29日
- ・神奈川県私立幼稚園連合会 平成27年度「10年経験者研修会」11月4日
- ・横浜市児童相談所一時保護係学習担当者実技研修会「横浜美術館における素材に関わる活動を通じた理論と実践」9月15日
- ・横浜市特別支援学校校長会・横浜市特別支援教育研究会造形部会 第3回実技研修会「造形・美術体験ワークショップ」12月5日
- ・公益財団法人海外日系人協会、JICA日系研修幼児教育コース「学校のためのプログラム見学および研修」12月9日

#### 八柳サエ

- ・テレビ東京・BSジャパン放送番組「美の巨人たち」鍋木清方《朝涼》解説 9月12日(テレビ東京)、10月7日(BSジャパン)

#### 端山聡子

- ・放送大学「博物館教育論(16)」通年4月1日-3月31日
- ・多摩美術大学「美術普及概論、ワークショップ論、PBLⅡ-24」通年4月1日-3月31日

#### 木村絵理子

- ・共立女子大学教養教育「博物館学概論\_02」9月21日-3月20日
- ・鼎談「毛利悠子 感覚の観測<I/O—ある作曲家の場合>」トークイベント「インスタレーションとインストラクション」(ドキュメンタリー・イン・プログレス実行委員会主催) アサヒ・アートスクエア、10月25日

#### 木下貴博

- ・東海大学教養学部芸術学科美術学課程「新入生研修会における市民のアトリエ見学及び事業内容解説」

◎委員・審査員等

逢坂恵理子

- ・文部科学省中央教育審議会専門委員(初等中等教育分科会)
- ・東京国立近代美術館評議員(美術・工芸部会)
- ・国立西洋美術館評議会評議員
- ・島根県芸術文化センター協議会委員
- ・東京都現代美術館美術資料収蔵委員会委員
- ・神奈川県立県民ホール指定管理者外部評価委員
- ・金沢21世紀美術館 美術館美術品収集委員
- ・第26回UBEピエンナーレ選考委員
- ・大阪新美術館整備有識者会議委員
- ・高松宮殿下記念世界文化賞アジア委員会推薦委員(絵画／彫刻部門)
- ・鹿島美術財団理事
- ・京都服飾文化研究財団評議員
- ・International Biennale Association 理事
- ・第10回ヒロシマ賞受賞者選考審議会委員

柏木智雄

- ・東京国立近代美術館美術作品修理業務企画審査委員
- ・東京国立近代美術館修復評価委員
- ・東京国立近代美術館美術作品評価員
- ・栃木県立美術館紺綬褒章申請に係る価格評価書の作成
- ・横須賀美術館運営評価委員会委員

沼田英子

- ・版画学会運営委員
- ・ジャポニスム学会理事

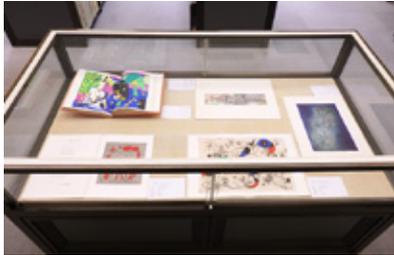
木村絵理子

- ・あいちトリエンナーレ実行委員会「アーツ・チャレンジ2016」選考委員
- ・現代芸術振興財団「第1回 CAFAA 賞」推薦委員

松永真太郎

- ・東京都写真美術館作品資料収蔵委員会委員

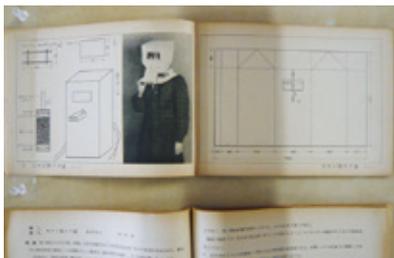
# 美術情報センターの活動



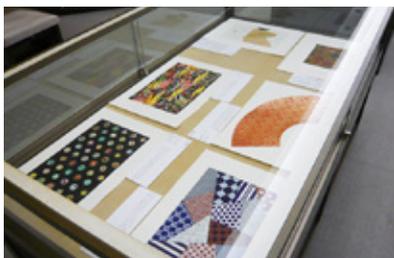
「美術と音楽」展示風景



「戦時体制下の美術教科書」展示風景



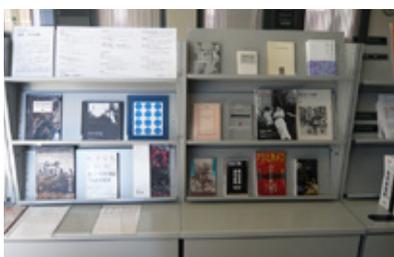
「戦時体制下の美術教科書」展示風景



「手漉和紙大鑑」より」展示風景



開架書庫と資料展示風景



「追悼 中平卓馬コーナー」展示風景

美術情報センターは、美術に関する図書資料、映像資料等を収集、整理、保存し、市民や研究者の利用に供することを目的としています。また、所蔵資料を活用し、コレクション展との連携を行っています。

開室時間：10:00～18:00(入室および各種利用受付17:30まで)

\* 年末年始及び特別整理期間は休室

## 収集・整理・保存・利用状況

### 収集実績

	購入	寄贈	合計
和書	6冊	1,269冊	1,275冊
洋書	5冊	40冊	45冊
和カタログ	0冊	1,169冊	1,169冊
洋カタログ	0冊	31冊	31冊
収集総数		2,520冊	
蔵書総数		109,220冊	

逐次刊行物 2,975タイトル

### 利用状況

開室日数	300日
利用者数	16,832人
レファレンス	968件
閉架資料利用	2,612冊
コピー利用	719件
ビデオ利用	139件

### 特別整理期間

期間：6月8日(月)-17日(水)

概要：洋カタログ20,605件の点検、和雑誌全配架見直し、整序、配架移動(全665段、5段x7連x19の壁面)

## 資料展示等

### 資料特別展示

#### ガラス展示ケース

- 石田尚志展連動企画  
「美術と音楽 マグ画廊『アリエール・ル・ミロワール』を中心に」  
4月1日(水)-7月5日(日) 10点
- コレクション展第2期連動企画  
「戦後70年特集：美術情報センター所蔵資料にみる戦時体制下の美術教科書」  
8月7日(金)-10月31日(土) 16点

- 中島清之展・村上隆コレクション展連動企画  
「手漉和紙大鑑」  
11月3日(火祝)-4月3日(日) 10点

### 資料展示架

- コレクション展第3期連動企画  
「追悼 中平卓馬」  
12月16日(水)-4月3日(日) 18冊
- 村上隆コレクション展連動企画  
「『BT/美術手帖』で読む村上隆」  
1月27日(水)-4月3日(日) 20冊

## 美術情報センター外への所蔵資料貸出

貸出先・貸出期間	貸出資料
「マグリット展」 国立新美術館 平成26年3月25日(水)-6月29日(月)	画廊での個展カタログ、シュルレアリスム関係の定期刊行物等、計19点
放送大学神奈川学習センター 11月14日(土)-12月5日(土)	「ゆかり作家ビデオ岡田謙三」 (No.1308)

## 映像資料公開

### イメージフォーラム・フェスティバル2015

映像表現の最先端を紹介する国内最大級の映像アートの祭典、イメージフォーラム・フェスティバル2015にて当館所蔵の映像資料を含む国内外のフィルムアートを上映。また同

時期開催の「石田尚志 渦まく光」展にあわせ、石田氏をナビゲーターとした特集プログラムも実施。

日時：5月29日(金)-5月31日(日)  
会場：レクチャーホール  
参加人数：31人,262人,38人



# 教育普及事業

## 概要

横浜美術館の教育普及活動は、開館以来実績を積み上げてきた造形プログラムと、鑑賞プログラムを組み合わせた、特色ある事業を展開しています。また、学校教育や環境啓発など、地域や社会と連携した新しい取組みも積極的に行っています。

子どものアトリエは、小学校6年生（12歳）までの子どもたちを対象とした創造の場です。「自分の目で見て、自分の手で触れ、自分でやってみる」ことを造形美術の基本と考え、遊びを通したさまざまな造形体験を提供しています。「プレイルーム」「クラフトルーム」「光と音のスタジオ」において、平日には幼稚園・保育園、小学校、特別支援学校などの教育機関と連携して造形や鑑賞の活動を行う「学校のためのプログラム」を、休日には個人を対象とした「親子のフリーゾーン」や各種造形講座を行っています。また、春と夏には「教師のためのワークショップ」を開催し、指導者への研修事業にも取り組んでいます。

市民のアトリエは、12歳以上が対象で、市民と作家あるいは市民と市民が「つくる」ことを通して美術に出会う場です。年間を通じて、展覧会や美術作品への理解を深めるため、企画展やコレクション展と関連する多彩な実技講座を開催しています。平面室は、絵画制作を中心に、さまざまな表現による作品制作を行うスペースです。立体室には、陶芸・彫塑をはじめ、各種の立体制作を行う設備が揃っています。版画室では、銅版画・リトグラフ・シルクスクリーン・木版画の各版種を本格的に制作することができます。

教育プロジェクトは鑑賞プログラムを中心に展開しています。エドゥケーターのもつさまざまな専門性をベースにしたコレクション展ギャラリートークの実施、ボランティアによる企画展事前ガイダンス、中高生の年代を対象にした個人向けや学校向けプログラムなどを提供し鑑賞をサポートしています。また、学校教育や地域福祉関係の支援団体との連携、ボランティア活動を中心とした市民協働など、美術館を地域に開き市民生活に繋げていく取組みを行っています。

## 平成27年度の総括

子どものアトリエは、学校連携プログラムや個人の造形講座、研修事業、病院へのアウトリーチ事業などの活動のほか、企画展（石田尚志展、蔡國強展）において、アーティストが主導する造形体験を併せた親子鑑賞講座を実施しました。また今年度、横浜市の芸術アクション事業に連動し、横浜赤レンガ倉庫ダンス・ワーキング・プログラムに協力するなど、世界で活躍するアーティストと子どもたちの出会いの場を創出しました。

市民のアトリエは、館内で行う実技講座のほか、市内の中学校へのアウトリーチ事業、横浜市環境創造局との共催で実施している「横浜みどりアップ・ワークショップ」事業を継続し、今年度から新たに高齢者福祉施設へのアウトリーチ事業にも取り組みました。

教育プロジェクトは、特別支援学校中等部・高等部や若者の自立を支援する団体との共催で鑑賞プログラムに継続的に取り組むほか、市民活動や地域に結びつくボランティア活動を拡大しました。横浜トリエンナーレサポーターとの合同活動や各種の研修会・勉強会などを実施し、より自主的で活発なボランティア活動を生み出しました。

教育普及グループは、こうした活動を通して、子ども・障がい者・高齢者など幅広い人々、地域や市民生活に開かれた美術館を目指して教育普及活動をさらに充実させ展開しました。

企画展

◎石田尚志展

上映&トーク

[第1回] 石田尚志映像個展  
 日時: 4月19日(日) 14:00~15:30  
 出演: 石田尚志, 松永真太郎  
 会場: レクチャーホール  
 参加人数: 135人

[第2回] クロストーク

日時: 4月26日(日) 14:00~15:30  
 出演: 石田尚志, 吉増剛造(詩人)  
 敷前知子(東京都現代美術館学芸員)  
 会場: レクチャーホール  
 参加人数: 200人

ライブドローイング「横浜絵巻」

日時: 5月5日(火祝) 14:00~15:00  
 出演: 石田尚志, O JUN(画家), 小林正人(画家)  
 会場: 横浜美術館前広場  
 参加人数: 380人

石田尚志ワークショップ「映像の光」

\*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(p.40)

ギャラリートーク

日時: 4月10日・24日, 5月8日・22日(各金曜)  
 15:00~15:30  
 担当: 松永真太郎, 大澤紗蓉子  
 会場: 展示室  
 参加人数: 16人, 8人, 11人, 35人

夜の美術館でアートクルーズ

日時: 4月18日(土), 5月13日(水)  
 19:00~21:00  
 担当: 松永真太郎  
 会場: 展示室  
 参加費: 3,000円  
 参加人数: 28人, 29人



蔡國強展 高中生プログラム記録誌

◎蔡國強展

火葉絵画制作内覧会

日時: 6月19日(金) 16:30~18:30  
 会場: グランドギャラリー  
 参加人数: 60人

アーティスト・トーク(ライブストリーミング)

日時: 7月11日(土) 15:00~16:30  
 講師: 蔡國強  
 会場: レクチャーホール  
 参加人数: 230人

ギャラリートーク

日時: 7月17日・31日, 9月4日・11日(各金曜)  
 14:00~14:30  
 9月16日(水)・18日(金) 18:00~18:30  
 担当: 沼田英子, 中村尚明, 木村絵理子  
 会場: 展示室  
 参加人数: 50人, 60人, 60人, 60人, 60人, 70人

夜の美術館でアートクルーズ

日時: 8月29日(土), 9月9日(水)  
 19:00~21:00  
 担当: 逢坂恵理子  
 会場: 展示室  
 参加費: 3,000円  
 参加人数: 33人, 29人

横浜美術館・森美術館コラボレーション

高中生プログラム

体験しよう! 伝えよう! アート — 蔡國強展と

ディン・Q・レ展をめぐるワークショップ—

日時: 6月28日(日) 10:00~12:00  
 7月5日(日)・19日(日)  
 10:00~12:00  
 7月26日(日), 8月9日(日)  
 10:00~14:00  
 8月19日(水) 10:00~15:30  
 8月30日(日) 10:00~14:30  
 9月13日(日) 10:30~14:30  
 10月4日(日) 10:00~12:00  
 11月29日(日), 12月13日(日), 4月3日(日)  
 10:00~12:00  
 担当: 端山聡子, 河上祐子  
 会場: 展示室, 8階スクールスペース  
 ※9月13日は森美術館  
 対象: 中学生, 高校生  
 参加人数: 19人, 14人, 19人, 16人, 18人, 13人  
 24人, 14人, 14人, 8人, 7人, 8人

蔡國強展をたのしむ! こども探検隊

日時: 8月19日(水) 10:30~14:00  
 担当: 端山聡子, 河上祐子  
 会場: 展示室, 8階スクールスペース  
 対象: 小学4・5・6年生  
 参加人数: 20人

シルバーウィーク対談「蔡國強を語る」

日時: 9月20日(日)・23日(水祝)  
 14:00~14:40  
 ゲスト: 山野真悟(黄金町エリアマネジメントセンター 事務局長)  
 芹沢高志(P3 art and environment 統括ディレクター)  
 聞き手: 逢坂恵理子  
 会場: グランドギャラリー  
 参加人数: 90人, 50人

◎中島清之展

記念対談「どこがおもしろいのか、清之の画業」

日時: 11月21日(土) 14:00~15:30  
 出演: 日夏露彦(美術評論家/清之次男・中島洋光)×大矢鞠音(美術評論家/津和野町立安野光雅美術館館長)  
 会場: レクチャーホール  
 参加人数: 104人

フロアトーク

日時: 12月6日(日) 14:00~15:00  
 出演: 中島千波(日本画家/清之三男)  
 会場: 企画展ホワイトエ  
 参加人数: 90人

創作ワークショップ「日本画の絵具で描いてみよう!」

\*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(p.40)

夜の美術館でアートクルーズ

日時: 11月28日(土), 12月9日(水)  
 19:00~21:00  
 担当: 内山淳子, 太田雅子  
 会場: 展示室  
 参加費: 3,000円  
 参加人数: 24人, 29人

ギャラリートーク

日時: 11月27日, 12月11日・25日(各金曜)  
 15:00~15:30  
 担当: 内山淳子, 太田雅子  
 会場: 展示室  
 参加人数: 30人, 22人, 30人



石田尚志展 ライブドローイング



石田尚志展 アートクルーズ



蔡國強展 中高生プログラム



蔡國強展 こども探検隊



中島清之展 フロアトーク



村上隆コレクション展 アートクルーズ

## ◎村上隆コレクション展

### 村上隆トークイベント

日時：1月30日(土) 14:00～16:00  
 登壇者：村上 隆(アーティスト)  
 聞き手：逢坂恵理子  
 三木あき子(本展ゲストキュレーター)  
 会場：レクチャーホール  
 参加人数：185人

### 緊急開催！村上隆ふたたびコレクションを語る

日時：2月21日(日) 14:00～15:30  
 登壇者：村上 隆  
 会場：レクチャーホール  
 参加人数：194人

### 村上隆、三度コレクションを語る

日時：3月19日(土) 14:00～15:30  
 登壇者：村上 隆  
 会場：レクチャーホール  
 参加人数：193人

### ギャラリートーク

日時：2月12日・26日, 3月11日・25日(各金曜)  
 15:00～15:30  
 4月1日(金)・2日(土) 18:00～18:30  
 担当：柏木智雄, 松永真太郎, 庄司尚子  
 会場：展示室  
 参加人数：50人, 80人, 70人, 90人  
 95人, 110人

### 夜の美術館でアートクルーズ

日時：2月20日(土), 3月9日(水)  
 19:00～21:00  
 担当：逢坂恵理子, 三木あき子  
 柏木智雄, 松永真太郎  
 会場：展示室  
 参加費：3,000円  
 参加人数：28人, 33人

### 若者支援プログラム

\*鑑賞サポート コレクション展 第3期 参照  
 (p.34)

## コレクション展

## ◎第1期

## ギャラリートーク

日時: 4月3日・17日, 5月1日・15日・29日

(各金曜) 14:00~14:30

担当: 金井真悠子, 太田雅子, 山崎 優, 木下貴博

会場: 展示室

参加人数: 13人, 19人, 11人, 13人, 12人

## アーティスト・トーク

日時: 4月25日(土), 5月16日(土)

14:30~15:30

講師: 三瀬夏之介(美術家), 岩崎貴宏(作家)

会場: 展示室

参加人数: 35人, 50人

## 特別支援学校の創作・鑑賞ワークショップ

上菅田特別支援学校

日時: 5月19日(火) 10:30~12:00

担当: 太田雅子, 金井真悠子

会場: 展示室, 市民のアトリエ

参加人数: 17人

## 若者支援プログラム

K2インターナショナル利用者対象

日時: 5月25日(月) 14:30~17:15

担当: 関 淳一, 端山聡子, 河上祐子

会場: 展示室, 市民のアトリエ

参加人数: 10人

## 舞踊史を学ぶ講座「ダンスの歴史と現在」

「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2015」参加イベント

\*外部と連携した事業 専門館連携 参照(p.57)

## ◎第2期

## ギャラリートーク

日時: 7月17日・31日, 8月7日・21日

9月4日・18日, 10月2日・16日(各金曜)

14:00~14:30

※7月17日・31日, 9月4日のみ15:00~

15:30

担当: 太田雅子, 金井真悠子, 関 淳一

岡崎智美, 端山聡子, 柳川文秀

会場: 展示室

参加人数: 15人, 33人, 36人, 29人, 20人

20人, 23人, 24人

## トークセッション

日時: 7月25日(土) 14:00~15:00

出演: 稲垣ジャクレー・テレーズ

猿渡紀代子(当館特任研究員)

会場: 展示室

参加人数: 42人

## アーティスト・トーク

日時: 8月23日(日) 14:00~15:30

講師: 中村 宏(絵画家)

会場: 展示室

参加人数: 35人

## 横浜市教育委員会「心の教育ふれあいコンサート」連携プログラム

日時: 9月1日(火)・29日(火), 10月5日(月)

13:00~14:00

9月30日(水), 10月6日(火)

10:30~11:30

担当: 金井真悠子

会場: 展示室, 円形フォーラム

参加人数: 波沢小学校76人

山下みどり台小学校54人

東市ケ尾小学校97人

能見台小学校84人

黒須田小学校124人

## 若者支援プログラム

K2インターナショナル利用者対象

日時: 9月28日(月) 15:00~17:30

担当: 端山聡子, 河上祐子

会場: 展示室, 8階スクールスペース

参加人数: 16人

## ◎第3期

## ギャラリートーク

日時: 11月6日・20日, 12月4日・18日

2月5日・19日, 3月4日・18日(各金曜)

14:00~14:30

担当: 金井真悠子, 関 淳一, 山崎 優, 太田雅子

河上祐子, 櫻庭瑠実, 端山聡子

会場: 展示室

参加人数: 15人, 18人, 9人, 15人, 16人

22人, 25人, 15人

## アーティスト・トーク

日時: 2月13日(土), 3月12日(土)

14:00~15:00

講師: 金氏徹平(美術家), 諏訪 敦(画家)

会場: 展示室

参加人数: 50人, 70人

## 横浜市視覚障害福祉協会鑑賞プログラム

日時: 11月21日(土) 13:30~15:30

担当: 関 淳一

会場: 展示室

参加人数: 20人

## 特別支援学校の創作・鑑賞ワークショップ

日野中央高等特別支援学校

日時: 1月9日(土) 10:20~12:00

担当: 太田雅子

会場: 展示室, アートギャラリー2

参加人数: 15人

## 横浜国立大学連携

## 高齢者向け創作ワークショップ

日時: 1月12日(火) 14:00~16:00

担当: 木下貴博

会場: 戸部ハマノ愛生園

参加人数: 16人

\*12月15日(火)に事前検討授業実施。

## 若者支援プログラム

K2インターナショナル利用者対象

日時: 2月17日(水) 14:30~17:30

担当: 端山聡子, 河上祐子

会場: 展示室, 8階スクールスペース

参加人数: 12人

## New Artist Picks

## ◎荒木悠展 複製神殿

## アーティスト・トーク

日時: 2月27日(土) 16:30~17:30

講師: 荒木 悠(出品作家)

会場: アートギャラリー2

参加人数: 52人

## 荒木悠 新作講評会

日時: 3月21日(月祝) 16:00~17:00

講師: 藤幡正樹(メディア・アーティスト/元東京芸術大学大学院映像研究科メディア

映像専攻教授)

会場: アートギャラリー1

参加人数: 55人



コレクション展 アーティスト・トーク



コレクション展 ギャラリートーク



心の教育ふれあいコンサート連携プログラム



特別支援学校の創作・鑑賞ワークショップ



高齢者向け創作ワークショップ



夏休み子どもフェスタ2015

## 子ども鑑賞サポート

### ◎個人向け鑑賞講座

#### わくわく①1日鑑賞講座

- 親子講座「動く絵をつくろう!」  
日時:5月5日(火祝) 10:00~11:30  
講師:石田尚志, 山崎 優, 岡崎智美  
高徳早矢香  
対象:小学校1~6年生と保護者  
参加人数:23組65人

#### ●蔡さんと子どもたち

- 親子講座「カラーテープで昼間の花火をえがこう」  
日時:7月11日(土) 10:00~12:00  
講師:蔡國強, 山崎 優, 岡崎智美, 高徳早矢香  
対象:小学校1~6年生と保護者  
参加人数:39組104人

#### ●親子で「中島清之展」をみよう

- 日時:11月23日(月祝) 10:00~12:00  
講師:山崎 優, 岡崎智美, 高徳早矢香  
対象:小学生1~6年生と保護者  
参加人数:12組30人

### わくわく日曜鑑賞講座

#### ●横浜美術館鑑賞クラブ

- 「美術ってなんじゃもんじゃ?」  
日時:2月7・14・21日[3回] 14:00~16:00  
講師:山崎 優, 岡崎智美, 高徳早矢香  
参加費:3,500円  
対象:小学校4・5・6年生  
参加人数:10人

### ◎学校のためのプログラム

#### 鑑賞プログラム[小学校5校]

- 日時:12月4日(金)・7日(月)  
3月1日(火)・2日(水)・4日(金)  
担当:山崎 優, 岡崎智美, 高徳早矢香  
会場:子どものアトリエ, コレクション展展示室  
参加人数:西前小学校84人  
西寺尾小学校57人  
青木小学校121人  
中尾小学校64人  
境木小学校105人

### ◎夏休み子どもフェスタ2015

- 日時:8月8日(土)-12日(水)  
10:30~14:00  
※8月9日(日)のみ、13:30~16:00

担当:教育普及グループ

会場:コレクション展展示室

対象:小・中学生

参加人数:892人

\*下記アートクラブツアーの参加人数を含む。

#### 夏休み子どもフェスタ アートクラブツアー

- 日時:8月8日(土)・10日(月)・11日(火)  
担当:教育普及グループ  
アートティーチャーズ・サポーター(教師ボランティア)  
会場:コレクション展展示室  
受入学校数:4校  
参加生徒数:65人

\*子どものアトリエ ミニギャラリー展示

4月~10月

立体絵本の展示Ⅰ:「動物」「イギリス、パーバー美術館との交流展示」

11月~3月

立体絵本の展示Ⅱ:「冬の暮らし/物語」

## 募集リーフレット

横浜美術館 教育プログラム『もったのしむ! 横浜美術館』の発行



# 子どものアトリエ

## 学校のためのプログラム

造形プログラム(90校) [幼稚園・保育園35園/小学校34校/特別支援・各種学校21校]

時間: 10:00~14:00

会場: 子どものアトリエ

担当: 山崎 優, 岡崎智美, 高德早矢香

年間参加者数: 6,553人

4月21日(火)	鴨居北こども園	41人	10月19日(月)	阿久和小学校	81人
4月22日(水)	東京横浜ドイツ学園(小学部)	31人	10月20日(火)	川和小学校	71人
4月28日(火)	鴨居小学校	96人	10月21日(水)	本郷特別支援学校	76人
5月8日(金)	県立金沢養護学校	22人	10月23日(金)	大谷学園幼稚園	81人
5月12日(火)	千丸台保育園	23人	10月27日(火)	二俣川小学校	103人
5月15日(金)	新鶴見小学校	167人	10月28日(水)	さゆり幼稚園	96人
5月19日(火)	港南台第一小学校	116人	11月4日(水)	横浜りとるばんぶきんず	45人
5月20日(水)	笹山保育園・六ッ川西保育園	52人	11月6日(金)	浜小学校	81人
5月22日(金)	アスク和田町保育園	13人	11月10日(火)	岩崎学園新横浜保育園	34人
5月25日(月)	南吉田小学校	142人	11月11日(水)	つつじが丘小学校	93人
5月26日(火)	御霊神社保育園	26人	11月13日(金)	坂本小学校	124人
5月27日(水)	瀬谷さくら小学校	155人	11月17日(火)	霧が丘小学校	112人
5月29日(金)	港南区個別支援学級合同	66人	11月18日(水)	戸塚区個別支援学級合同	110人
6月3日(水)	日吉台光幼稚園	39人	11月20日(金)	つくの幼稚園	81人
6月5日(金)	平戸台小学校	36人	11月24日(火)	大口台小学校	67人
6月8日(月)	鶴見区個別支援学級合同	70人	11月25日(水)	わおわお東寺尾保育園	35人
6月9日(火)	笹野台小学校	120人	11月27日(金)	聖坂養護学校	39人
6月10日(水)	和光幼稚園	67人	12月1日(火)	そよかぜ保育園	21人
6月12日(金)	瀬戸ヶ谷小学校	89人	12月2日(水)	港南台ひの特別支援学校	37人
6月15日(月)	桜台小学校	75人	12月8日(火)	杉田小学校	133人
6月16日(火)	原幼稚園	146人	12月9日(水)	鴨居こども園	53人
6月17日(水)	深谷小学校	126人	12月11日(金)	北綱島特別支援学校	44人
6月19日(金)	横浜訓盲学院	35人	12月15日(火)	鶴見朝鮮初級学校	27人
6月23日(火)	ゆうゆうのもり幼保園	64人	1月12日(火)	にじいろ保育園いずみ中央・ にじいろ保育園品濃町	60人
6月24日(水)	新吉田小学校	103人	1月13日(水)	神奈川小学校	96人
6月26日(金)	横浜英和幼稚園	48人	1月15日(金)	瀬谷区個別支援学級合同	80人
6月30日(火)	盲特別支援学校	45人	1月19日(火)	折本小学校	145人
7月1日(水)	大綱小学校	100人	1月20日(水)	県立保土ヶ谷養護学校小学部	31人
7月3日(金)	中希望が丘保育園	39人	1月22日(金)	根岸星の子保育園・原町星の子保育園	53人
7月7日(火)	青葉区個別支援学級合同	90人	1月26日(火)	横浜学園附属元町幼稚園	39人
7月8日(水)	桜岡小学校	113人	1月27日(水)	高田東小学校	77人
7月10日(金)	北方小学校	107人	1月29日(金)	霧ヶ丘幼稚園	48人
7月14日(火)	南若宮幼稚園	65人	2月2日(火)	潮田幼稚園	82人
9月8日(火)	小机幼稚園	38人	2月3日(水)	下末吉小学校	61人
9月9日(水)	東本郷小学校	136人	2月5日(金)	県立鶴見養護学校	34人
9月11日(金)	金沢区個別支援学級合同	56人	2月9日(火)	大曽根小学校	131人
9月15日(火)	羽沢小学校	87人	2月10日(水)	光輪幼稚園	57人
9月16日(水)	洋光台幼稚園	67人	2月12日(金)	つづきの丘小学校	83人
9月18日(金)	矢向小学校	129人	2月16日(火)	星の子保育園	28人
9月25日(金)	屏風ヶ浦保育園	55人	2月17日(水)	中村特別支援学校	39人
9月29日(火)	保育園ばんびーな	42人	2月19日(金)	明德二俣川保育園	20人
9月30日(水)	旭区個別支援学級合同	86人	2月23日(火)	ボブラ保育園	26人
10月9日(金)	保土ヶ谷区個別支援学級合同	99人	2月24日(水)	常盤台小学校	119人
10月13日(火)	にじいろ保育園新杉田	16人	2月26日(金)	東小学校	112人
10月14日(水)	西区個別支援学級合同	108人			
10月16日(金)	神大寺幼稚園	42人			



学校のためのプログラム



親子のフリーゾーン



えのぐであそぼう



ダンスクラブ



ジオラマアート



日本画クラブ

### 親子のフリーゾーン

日時：原則日曜 10:00～11:30

会場：子どものアトリエ

参加費：小学生以下の子ども無料，中学生以上100円

年間参加者数：19,181人

4月12日(日)	599人	10月11日(日)	502人
4月19日(日)	548人	10月18日(日)	541人
4月26日(日)	603人	10月25日(日)	447人
5月10日(日)	600人	11月8日(日)	503人
5月17日(日)	598人	11月15日(日)	503人
5月24日(日)	660人	11月22日(日)	515人
6月7日(日)	603人	11月29日(日)	569人
6月14日(日)	605人	12月6日(日)	419人
6月21日(日)	601人	12月13日(日)	373人
7月5日(日)	502人	1月10日(日)	499人
7月12日(日)	600人	1月17日(日)	501人
7月19日(日)	601人	1月24日(日)	441人
8月2日(日)	600人	2月7日(日)	412人
8月9日(日)	603人	2月14日(日)	284人
8月16日(日)	603人	2月21日(日)	501人
9月6日(日)	601人	3月6日(日)	503人
9月13日(日)	610人	3月13日(日)	429人
9月20日(日)	602人	3月20日(日)	500人

### 募集リーフレット・事業案内映像

横浜美術館 子どものアトリエプログラム『ピコラガイド』『親子のフリーゾーンガイド』の発行



子どものアトリエ活動紹介VTRの制作(事業紹介・親子のフリーゾーン案内)



個人の造形講座

会場: 子どものアトリエ  
 担当: 山崎 優, 岡崎智美, 高德早矢香

【造形プログラム】

◎わくわく日曜造形講座

4月 多色版画に挑戦!

日時: 4月12・19・26日 [3回] 14:00~16:00  
 参加費: 4,000円  
 対象: 小学校4・5・6年生  
 参加人数: 23人

5月 えのぐであそぼう

日時: 5月10・17・24日 [3回] 14:00~16:00  
 参加費: 3,500円  
 対象: 小学校1・2・3年生  
 参加人数: 23人

6月 ペーパーアート

日時: 6月7・14・21日 [3回] 14:00~16:00  
 参加費: 3,500円  
 対象: 幼稚園・保育園の年長児  
 参加人数: 23人

7月 花器をつくろう

日時: 7月5・12・19日 [3回] 14:00~16:00  
 参加費: 4,000円  
 対象: 小学校1・2・3年生  
 参加人数: 25人

9月 スタンプアート

日時: 9月6・13・20日 [3回] 14:00~16:00  
 参加費: 3,500円  
 対象: 幼稚園・保育園の年長児  
 参加人数: 24人

10月 紙工作に挑戦

日時: 10月11・18・25日 [3回] 14:00~16:00  
 参加費: 3,500円  
 対象: 小学校1・2・3年生  
 参加人数: 25人

11月 クリスマスの飾りをつくろう

日時: 11月8・15・22日 [3回] 14:00~16:00  
 参加費: 4,000円  
 対象: 幼稚園・保育園の年長児  
 参加人数: 23人

12月 紙粘土でみてつくろう

日時: 11月29日, 12月6・13日 [3回]  
 14:00~16:00  
 参加費: 4,000円  
 対象: 小学校1・2・3年生  
 参加人数: 24人

1月 発泡スチロールアート

日時: 1月10・17・24日 [3回] 14:00~16:00  
 参加費: 4,000円

対象: 小学校1・2・3年生  
 参加人数: 25人

3月 粘土であそぼう

日時: 3月6・13・20日 [3回] 14:00~16:00  
 参加費: 3,500円  
 対象: 幼稚園・保育園の年長児  
 参加人数: 19人

◎夏休み造形講座

ダンスクラブ

日時: 7月31日(金), 8月1日(土)・2日(日) [3回]  
 10:00~12:00  
 ※2日(日)は13:00~15:30

参加費: 4,000円  
 対象: 幼稚園・保育園の年長児  
 参加人数: 18人

モザイクアート

日時: 8月3日(月)・4日(火)・5日(水) [3回]  
 10:00~12:00  
 参加費: 4,000円  
 対象: 小学校1・2・3年生  
 参加人数: 27人

ジオラマアート

日時: 8月17日(月)・18日(火)・19日(水) [3回]  
 10:00~12:00  
 参加費: 4,000円  
 対象: 小学校4・5・6年生  
 参加人数: 23人

◎わくわく1日造形講座

ぐちゃぐちゃお絵かき

日時: 4月29日(水祝) 10:00~12:00  
 参加費: 1,500円  
 対象: 幼稚園・保育園の年長児  
 参加人数: 39人

親子講座「親子でフレームアート」

日時: 7月20日(月祝) 10:00~12:00  
 参加費: 親子2人で2,000円  
 (1人追加で+500円)  
 対象: 幼稚園・保育園の年長児と保護者  
 参加人数: 23組51人

親子講座「うそっこお花をつくろう」

日時: 9月23日(水祝) 10:00~12:00  
 参加費: 親子2人で2,000円  
 (1人追加で+500円)  
 対象: 小学校1~6年生と保護者  
 参加人数: 22組50人

小さな銅版でモノタイプ版画

日時: 1月11日(月祝) 10:00~12:00  
 参加費: 2,000円  
 対象: 小学校1~6年生  
 参加人数: 24人

毛糸であそぼう

日時: 2月11日(木祝) 10:00~12:00  
 参加費: 2,000円  
 対象: 幼稚園・保育園の年長児  
 参加人数: 20人

◎長期日曜造形講座

油絵クラブ

日時: 5月10・17・24日, 6月7・14・21日 [6回]  
 14:00~16:00  
 参加費: 9,000円  
 対象: 小学校4・5・6年生  
 参加人数: 20人

日本画クラブ

日時: 11月8・15・22・29日, 12月6・13日 [6回]  
 14:00~16:00  
 参加費: 9,000円  
 対象: 小学校4・5・6年生  
 参加人数: 23人

## 市民のアトリエ



小さなブロンズ作品づくり



版画基礎コース



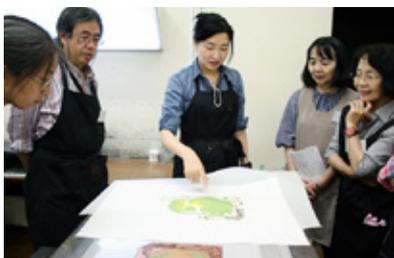
陶芸の基礎「暮らしの器」



透明水彩—花を描く—



写真をもっと楽しむ



カラーエッチング

### ワークショップ

#### ◎アートとふれあう

##### 小さなブロンズ作品づくり

日時:[2回] 各14:00~16:30

Aコース 4月26日(日)・29日(水祝)

Bコース 5月5日(火祝)・6日(水祝)

Cコース 8月30日, 9月6日(日)

Dコース 10月17・24日(土)

Eコース 11月30日, 12月7日(月)

Fコース 12月18・25日(金)

Gコース 1月10・17日(日)

Hコース 3月13・20日(日)

講師: 小林且典(彫刻家), 木下貴博

会場: 市民のアトリエ

参加費: 各4,500円

参加人数: A8人, B8人, C8人, D8人, E8人  
F8人, G8人, H8人

##### 版画基礎コース

担当: 櫻庭瑠実

日時:(各土曜) [6回] \*Cコースのみ4回  
各10:10~12:40

Aコース 5月9日-6月13日

Bコース 6月20日-7月25日

Cコース 8月29日-9月19日

Dコース 10月3日-11月7日

Eコース 11月14日-12月19日

Fコース 1月9日-2月13日

Gコース 2月20日-3月26日

インストラクター:

数見亮平(シルクスクリン)

井上智加(銅版画), 森田奏美(リトグラフ)

参加費: A, B, D, E, F, G=16,000円

C=10,000円

参加人数: A17人, B17人, C17人, D16人

E16人, F17人, G17人

##### 初めての絵画教室

日時: 6月6日-7月11日(土)

10月24日-12月5日(土)

(11月28日は休み)

[6回] 各14:00~16:00

講師: 柳川文秀

参加費: 各13,000円

参加人数: 15人, 15人

##### 陶芸の基礎「暮らしの器」

担当: 木下貴博

日時:[4回] 各14:00~16:00

各最終回14:00~15:00

Aコース 6月28日, 7月5・26日, 8月2日(日)

Bコース 10月3・10・31日, 11月7日(土)

Cコース 1月31日, 2月7・21・28日(日)

講師: 樋口 拓(東京藝術大学陶芸研究室教育  
研究助手)

参加費: 12,000円

参加人数: A10人, B10人, C10人

##### 透明水彩—花を描く—

担当: 柳川文秀

日時: 7月6日, 8月3日(月) [2回]

10:30~16:00

講師: 中村 愛(画家)

参加費: 16,000円

参加人数: 15人

##### 写真をもっと楽しむ

##### ポートレート撮影とフォトポリマーグラ ヴールによるプリント

担当: 櫻庭瑠実

日時: 前期 9月27日, 10月4日(日)

後期 2月28日, 3月6日(日)

[2回] 10:30~16:30

講師: 永村奈緒(写真家/版画家)

参加費: 各7,000円

参加人数: 前期11人, 後期12人

##### 銅版画講座 カラーエッチング

担当: 櫻庭瑠実

日時: 10月23日, 11月6・20日, 12月4・18日,

1月8・22日, 2月5日(金) [8回]

13:30~16:00

講師: 馬場知子(版画家)

参加費: 26,000円

参加人数: 15人

##### 木彫「手を彫る」

担当: 木下貴博

日時: 11月14日-2月20日(土) [12回]

(12月12日, 1月2・30日は休み)

14:00~16:30

講師: 吉田 直(彫刻家)

参加費: 41,000円

参加人数: 10人

##### 和紙の魅力

担当: 柳川文秀

講師: 森田千晶(和紙作家)

参加費: 各5,000円

●和紙づくり体験コース

日時: 1月24日(日) 10:30~15:30

参加人数: 15人

●透かし和紙づくりコース

日時: 3月6日(日) 10:30~16:00

参加人数: 11人

##### 油絵にトライ! 人物画を描いてみよう

担当: 柳川文秀

日時: 2月6日-3月19日(土) [7回]

14:00~16:30

講師: 一色映理子(画家)

参加費: 25,000円

参加人数: 16人

## 市民のアトリエ

### ◎平成27年度

#### 横浜みどりアップ・ワークショップ

##### 横浜の木でスプーンづくり

担当：木下貴博，柳川文秀，櫻庭瑠実  
日時：5月10・17・24・31日(日) [4回]  
13:30～16:00

講師：木下貴博

会場：1回目＝環境活動支援センター(保土ヶ谷区)  
2回目～4回目＝市民のアトリエ

参加費：無料

参加人数：12人

##### 苔玉の小さな森づくり

担当：木下貴博，柳川文秀，櫻庭瑠実  
日時：6月7日(日)，12月12日(土) [2回]  
13:30～16:00

講師：山崎ちえ(盆栽家／豆松屋代表／[公社]全日本小品盆栽協会認定講師)

会場：6月7日＝環境活動支援センター(保土ヶ谷区)  
12月12日＝市民のアトリエ

参加費：無料

参加人数：15人

### ◎横浜美術館&横浜美術大学連携 公開講座

#### 大理石彫刻の技法を学ぶ

担当：木下貴博

日時：[15回・10日間]

9月27日 ①13:30～16:00

10月4日 ②10:00～12:30

③13:30～16:00

10月18日 ④13:30～16:00

10月25日 ⑤10:00～12:30

⑥13:30～16:00

11月8日 ⑦10:00～12:30

⑧13:30～16:00

11月15日 ⑨13:30～16:00

11月22日 ⑩10:00～12:30

⑪13:30～16:00

11月29日 ⑫13:30～16:00

12月6日 ⑬10:00～12:30

⑭13:30～16:00

12月13日 ⑮13:30～16:00

講師：平井一嘉(彫刻家／東北芸術工科大学  
非常勤講師)

会場：9月27日＝横浜美術館

9月27日以外＝横浜美術大学

参加費：35,000円

参加人数：16人

### ◎展覧会関連ワークショップ

#### 「石田尚志 渦まく光」展関連企画

##### 石田尚志ワークショップ「映像の光」

担当：櫻庭瑠実，柳川文秀  
日時：5月2日(土) 15:00～19:30  
講師：石田尚志(画家／映像作家)  
参加費：2,000円  
参加人数：15人

#### 「中島清之一日本画の迷宮」展関連企画

##### 日本画の絵具で描いてみよう!

担当：柳川文秀，櫻庭瑠実  
日時：11月15日(日)13:00～16:30  
講師：荒木 愛(日本画家)  
参加費：3,500円  
参加人数：15人



横浜の木でスプーンづくり



苔玉の小さな森づくり



大理石彫刻の技法を学ぶ



映像の光



日本画の絵具で描いてみよう!



オープンスタジオ立体室 木の作品

オープンスタジオ

◎オープンスタジオ立体室

担当：木下貴博  
会場：市民のアトリエ立体室

テラコッタ

日時：[6回] 各13:30～16:00  
各10:30～13:30(オプション)  
Aコース 5月9・16・23・30日, 6月6日  
7月4日(土)  
Bコース 6月9・16・23・30日, 7月7日  
8月11日(火)  
Cコース 8月18・25日, 9月1・8・15日  
10月13日(火)  
Dコース 10月19・26日, 11月2・9・16日  
12月21日(月)  
Eコース 1月15・22・29日, 2月5・12日  
3月11日(金)  
参加費：各9,000円 オプション500円  
参加人数：A15人, B14人, C13人, D13人, E13人  
オプション参加人数：240人

木の作品

日時：各13:30～16:00  
各10:30～13:30(オプション)  
Aコース 5月13日-7月22日(水) [10回]  
(7月15日は休み)  
Bコース 7月11日-9月19日(土) [10回]  
(8月15日は休み)  
Cコース 9月30日-12月2日(水) [10回]  
Dコース 11月17日-12月22日(火) [6回]  
Eコース 1月11日-2月15日(月) [6回]  
Fコース 2月17日-3月23日(水) [6回]  
参加費：A-C各15,000円  
D-F各9,000円, オプション500円  
参加人数：A15人, B15人, C14人, D13人  
E13人, F12人  
オプション参加人数：330人

◎オープンスタジオ平面室

担当：柳川文秀  
会場：市民のアトリエ平面室

人体クロッキー(ヌード)

日時：  
A, C, Eコース 10:30～13:00  
Bコース 14:00～16:30  
D, Fコース 14:30～17:00  
Aコース 5月13日-7月1日(水) [8回]  
Bコース 6月19日-8月7日(金) [8回]  
Cコース 10月7日-12月9日(水) [10回]  
Dコース 10月7日-12月9日(水) [10回]  
Eコース 1月13日-3月16日(水) [10回]  
Fコース 1月13日-3月16日(水) [10回]  
参加費：A, Bコース 各11,200円  
C-Fコース 各14,000円  
参加人数：A20人, B20人, C20人, D20人  
E20人, F20人

人体を描く

日時：[4回] 各14:00～16:30  
Aコース(着衣) 5月15日-6月5日(金)  
Bコース(ヌード) 7月15日-8月5日(水)  
Cコース(着衣) 9月18日-10月9日(金)  
Dコース(ヌード) 10月20・27日,  
11月10・17日(火)  
Eコース(着衣) 11月24日-12月15日(火)  
Fコース(ヌード) 1月19日-2月9日(火)  
Gコース(着衣) 2月19日-3月11日(金)  
参加費：各6,000円  
参加人数：A18人, B18人, C18人, D18人  
E18人, F18人, G18人

◎オープンスタジオ版画室

担当：櫻庭瑠実  
会場：市民のアトリエ版画室

日時：  
第1期 5月9日-7月29日(火・水・土)  
(水) 10:10～16:30  
(火・土) 14:00～16:30  
第2期 8月26日-10月31日(水・土)  
(9月26日は休み)  
(水) 10:10～16:30  
(土) 14:00～16:30  
第3期 11月4日-12月19日(水・土)  
(水) 10:10～16:30  
(土) 14:00～16:30  
第4期 1月9日-3月26日(火・水・土)  
(水) 10:10～16:30  
(火・土) 14:00～16:30  
(暗室使用はすべて14:00～16:30)  
インストラクター：  
数見亮平(シルクスクリーン)  
井上智加(銅版画)  
森田奏美(リトグラフ)  
参加費：(水) 利用 2,200円  
(火・土) 利用 1,600円  
暗室 1,600円  
参加人数：第1期594人, 第2期332人  
第3期250人, 第4期574人

募集リーフレット

横浜美術館 市民のアトリエプログラム『ワークショップガイド』の発行



# 市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業

## 市民協働

横浜市、学校、福祉関係機関、市民団体、ボランティア団体、NPO法人、企業などと協働し、美術館教育普及事業の活動を社会に広げます。特に、既存の市民団体、ボランティア団体の活動などとリンクさせることで、美術館の活動への支援を広げるよう努めています。また、横浜美術館コレクション・フレンズというユニークな個人参加型の芸術支援プログラムを通じ、参加者に横浜美術館コレクションを通して、より深く美術と親しむための特別プログラムを提供しています。

### ボランティア

#### 子どものアトリエ

##### 「親子のフリーゾーン」ボランティア

活動期間：第1次 4月1日(水)-3月31日(木)

第2次 5月1日(金)-3月31日(木)

登録人数：第1次 29人

第2次 13人

参加人数：延べ379人

\*9月26日(土) 材料準備大会実施

#### 美術情報センター1日ボランティア

活動期間：2月27日(土)、3月2日(水)

登録人数：14人

参加人数：延べ10人

#### 教育プロジェクトボランティア

活動期間：平成27年3月8日(日)-

平成28年3月21日(月祝)

登録人数：40人

参加人数：延べ1,447人

主な活動内容：

- ・研修会・勉強会 34回
- ・展覧会・ココがみどころ！ 52回
- ・ヨコハマ・アートマップ 28回
- ・ヨコトリサポーターとの合同活動 10回
- ・ふれあいコンサートサポート 5回
- ・蔡國強展 中高生プログラムサポート 12回

#### 蔡國強展火薬絵画制作ボランティア

活動期間：6月17日(水)-26日(金)

登録人数：53人

参加人数：延べ93人

### フラットなコミュニケーション

#### 顧客サービスに携わるスタッフ向け「おもてなし研修」

日時：1月27日(水) 13:15~14:45

講師：恵良隆二(財団理事)、八柳サエ

会場：8階レセプションルーム

参加人数：63人

#### 横浜シティガイド協会などとの連携による 横浜観光促進

##### 宮川香山・眞葛焼をめぐるレクチャー&街歩き

日時：12月20日(日)・21日(月) 13:00~16:00

会場：円形フォーラム~街歩き

宮川香山 眞葛ミュージアム

参加費：1,000円

協力：NPO法人横浜シティガイド協会

宮川香山 眞葛ミュージアム

参加人数：8人、29人

#### 原三溪生誕150年に向けた原三溪市民研究会 との共同研究

定例会原則月1回、第2土曜日

##### 原三溪市民研究会第2回シンポジウム

「原三溪と矢代幸雄―二人は美術を通して何を  
実現しようとしたのか―」

日時：11月14日(土) 14:00~16:30

第1部：基調講演「矢代幸雄と原三溪」

講師：山梨絵美子(東京文化財研究所  
企画情報部部長)

第2部：フォーラム「神奈川県立近代美術館寄  
託(矢代幸雄資料)を読む」

パネリスト：

山梨絵美子

清水 緑(三溪園保勝会学芸員)

久保いくこ(原三溪市民研究会)

コーディネーター：

藤嶋俊會(原三溪市民研究会)

共催：原三溪市民研究会／横浜美術館／  
三溪園

助成：公益信託ヨコハマ中区まちづくり本牧  
基金

資料協力：神奈川県立近代美術館

会場：レクチャーホール

参加人数：158人



ボランティア活動風景(展覧会・ココがみどころ!)



ボランティア活動風景(研修会)



ボランティア活動風景(ヨコハマ・アートマップ)



宮川香山・眞葛焼をめぐるレクチャー&街歩き



フレンズ ギャラリートーク展示室



フレンズ ギャラリートーク懇談風景

## 横浜美術館コレクション・フレンズ

11,000点を超える横浜美術館コレクションの継続的な修復や維持を目的として、平成22年にスタートした個人参加型の芸術支援プログラムです。参加者には、横浜美術館コレクションを通して、より深く美術と親しむための特別プログラムを提供しています。「横浜の宝」ともいえるコレクションをより良い状態で未来へ引き継いでいくための、ユニークな取り組みは、これからますますの発展が期待されています。

参加費：一口10,000円 参加人数：163名(184口)

### 平成27年度の対象作品7点

- ・奈良美智(1959-)  
《春少女》
- ・遅鵬(1981-)  
《五行山》
- ・横山大観(1868-1958)  
《雲揺ぐ》
- ・ポール・ジャクレー(1896-1960)  
《真珠、中国東北地方》
- ・ヴィフレド・ラム(1902-1982)  
《アダムとイヴ》
- ・ハンス(ジャン)・アルプ(1886-1966)  
《成長》
- ・ゲルト・クナツパー(1943-2012)  
《ヴィーナス》

### 交流会(年2回開催)

日時：9月26日(土) 16:30~18:30  
3月13日(日) 16:30~18:30  
講師：松永真太郎, 沼田英子  
会場：ブラッスリー・ティーズ・ミュゼ  
参加人数：92人, 88人

### ギャラリートーク(年4回、8日開催)

日時：①5月13日(水)・16日(土)  
②9月2日(水)・5日(土)  
③12月22日(火)・1月9日(土)  
④2月6日(土)・10日(水)  
各11:00~12:00  
講師：木村絵理子, 八柳サエ, 中村尚明  
会場：円形フォーラム, 8階レセプションルーム  
コレクション展展示室  
参加人数：25人・26人, 25人・22人, 19人・27人,  
15人・25人

## 地域社会や市民生活に貢献する事業

美術館における教育普及事業を、地域社会や市民生活に貢献する事業に発展させていきます。学校教育連携事業、アウトリーチ、人材育成事業、環境啓発事業等を行っています。

### 学校教育連携事業

#### アートティーチャーズ・デー

日時：(各土曜) 4月18日, 7月18日, 11月7日,  
2月6日  
10:00~12:00  
担当：山崎 優, 岡崎智美, 高德早矢香  
松永真太郎, 木村絵理子, 太田雅子  
庄司尚子

会場：子どものアトリエ, 展示室  
参加人数：25人, 26人, 7人, 31人

#### 夏休み子どもフェスタにおけるアートティーチャーズ・サポーター(教師ボランティア)の受入

活動期間：8月8日(土)~12日(水)  
担当：山崎 優, 岡崎智美, 高德早矢香  
会場：子どものアトリエ, 展示室  
登録人数：8人  
活動人数：26人

#### 横浜市芸術文化教育プラットフォーム

##### ●教師対象

中学校・高校・特別支援学校の教諭を対象とした研修会  
日時：7月27日(月) 10:00~16:00  
担当：端山聡子, 太田雅子, 金井真悠子  
会場：円形フォーラム, コレクション展展示室  
蔡國強展展示室  
参加人数：17人

##### ●学校プログラム

講師：川本直人(映像作家)  
生徒対象(計3校)  
・横浜市立希望が丘中学校  
11月11日(水) 9:00~12:50  
12日(木) 9:00~15:20 466人  
・横浜市立本郷中学校  
11月26日(木) 9:55~12:45  
27日(金) 9:55~15:20 336人  
・横浜市立上の宮中学校  
3月17日(木) 9:00~11:00  
18日(金) 9:00~11:00  
22日(火) 11:00~11:50 426人  
担当：関 淳一, 木下貴博, 柳川文秀, 櫻庭瑠実

#### 石田尚志展 多摩美術大学鑑賞会

日時：5月20日(水) 18:00~19:30  
担当：松永真太郎  
会場：展示室  
参加人数：12人

#### 蔡國強展 東京藝術大学大学院映像研究科、ドキュメンタリー映像制作協力

活動期間：4月25日(土)~7月9日(木)  
担当：沼田英子, 中村尚明, 木村絵理子  
登録人数：13人  
活動人数：13人

#### 蔡國強展 横浜美術大学ボランティア朝顔テラコッタ制作及び火薬絵画制作

活動期間：6月17日(水)~26日(金)  
担当：沼田英子, 中村尚明, 木村絵理子  
登録人数：54人  
活動人数：97人  
(朝顔制作延べ68人, 火薬延べ29人)

#### 美術情報センター

鶴見大学研修生受入(台北・世新大学生)  
日時：7月3日(金) 15:20~16:30  
担当：八柳サエ  
会場：美術情報センター  
人数：15人

#### 横浜美術館&横浜美術大学連携公開講座

\*市民のアトリエ ワークショップ 参照(p.40)

#### 城西国際大学と連携した展覧会映像コンテンツ制作

・中島清之展  
・コレクション展第2期  
・コレクション展第3期  
・荒木悠展

#### 横浜国立大学連携

##### 高齢者向け創作ワークショップ

\*鑑賞サポート コレクション展 第3期 参照(p.34)

#### 県立弥栄高校鑑賞研究会

日時：7月17日(金) 13:30~17:00  
担当：関 淳一, 端山聡子, 河上祐子  
会場：蔡國強展展示室, 円形フォーラム  
参加人数：84人

#### 蔡國強展 横浜市立本町小学校鑑賞会(国語の授業での受入)

日時：8月28日(金) 10:30~12:15  
担当：端山聡子  
会場：展示室, アートギャラリー2  
参加人数：88人



アートティーチャーズ・デー



横浜市芸術文化教育プラットフォーム 教師対象



横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム



アウトリーチ



親子でエコ教室



教師のためのワークショップ

## アウトリーチ事業等

### アウトリーチ

日時: 6月29日(月), 8月27日(木), 10月6日(火)  
担当: 山崎 優, 岡崎智美, 高德早矢香  
会場: 日枝幼稚園, 鶴見双葉幼稚園, 県立こども医療センター

参加人数: 50人, 140人, 30人

\*Heart to Art(p.57) による開催

### Heart to Art《よこしん》親子でエコ教室共催

日時: 7月21日(火)  
13:00~13:50, 14:00~15:40

講師(パフォーマンスショー): らんま先生

担当(ポスター制作): 山崎 優, 岡崎智美

高德早矢香

会場: レクチャーホール, 子どものアトリエ

参加人数: 11組31人

### 若者の自立支援のための講座

日時: 12月11日(金), 3月4日(金)

13:00~15:00

担当: 関 淳一, 端山聡子

会場: 南部ユースプラザ

参加人数: 15人, 8人

## 人材育成事業

### ◎博物館実習

活動期間: 9月4日(金)・5日(土)・6日(日)・7日(月)・11日(金)・12日(土)・13日(日)  
各日10:00~16:30  
※ただし、6日(日)と13日(日)は9:30~16:30

担当: 金井真悠子, 河上祐子

会場: 美術館内

参加費: 30,000円

受講人数: 22人

参加人数: 延べ153人

参加学校: 青山学院大学

桜美林大学

京都造形芸術大学

成城大学

多摩美術大学

筑波大学

東京造形大学

東京大学

日本女子大学

法政大学

武蔵野美術大学

横浜国立大学

和光大学

### ◎インターンシップ

#### 子どものアトリエ

##### ●インターン

活動期間: 6月20日(金)-3月31日(木)

登録人数: 19人

参加人数: 延べ142人

##### ●城西国際大学インターン

活動期間: 8月2日(日)-19日(水)

登録人数: 12人

参加人数: 延べ48人

#### 海外インターンシップの受入

活動期間: 平成28年3月16日(水)-3月31日(木)

登録人数: 1人

参加人数: 延べ4人

### ◎子どものアトリエ 教師のためのワークショップ

日時: 夏期講座7月25日(土)・26日(日)  
春期講座3月26日(土)・27日(日)  
10:00~16:00

担当: 山崎 優, 岡崎智美

会場: 子どものアトリエ

参加費: 各日5,000円

(両日参加の場合は8,000円)

参加人数: 95人・97人, 72人・62人

### ◎子どものアトリエ 保育士・教師他を対象とした研修等

受入件数: 10件

参加人数: 487人

受入団体: 神奈川県教育委員会

町田福祉保育専門学校

磯子区保育士会

神奈川県私立幼稚園連合会(2件)

横浜市小学校図画工作教育研究会

横浜市児童相談所

横浜市特別支援学校教育研究会

海外日系人協会

横浜市文化観光局

### ◎その他研修等

受入件数: 6件

参加人数: 409人

受入団体: 横浜市図画工作教育研究会

横浜市中学校教育研究会美術

科部会(4件)

朗読音読奉仕会かもめ



# 美術品の収集、保存・修復、貸出

## 収集

### 美術資料収集方針

横浜美術館では、次のような方針に基づき作品を収集しています。(平成28年3月現在11,521件所蔵)

- 1 西洋文化の流入窓口であった横浜開港当時からヨーロッパ近代美術と日本近代美術の相互影響の足跡がたどれる作品
- 2 (1) 現代美術の展開と流れの鳥瞰に役立つ作品  
(2) 今日の美術が内包する問題点を明確に表している作品  
(3) 近代美術の一分野としての写真の代表作品  
(4) 現代の市民生活に密着した分野(デザイン、工芸、建築、ピエオ)の代表作品
- 3 横浜ゆかりの代表的作家の作品  
(1) 岡倉天心との関係を含めて、原三溪に庇護された、日本近代美術の発展に寄与した作家の作品  
(2) その他、横浜ゆかりの代表的作家の作品
- 4 以上の美術に関連する資料

### 収集実績

分野別作品収集点数 平成27年度末累計:( )内は27年度収集作品

	日本画	油彩画 (日本洋画・西洋洋画)	版画	水彩・素描	彫刻・立体	工芸	写真	作品外資料*	合計
購入	162 (0)	198 (0)	1,607 (0)	62 (0)	46 (0)	82 (0)	3,183 (0)	0 (0)	5,340 (0)
寄贈	652 (3)	305 (5)	1,611 (10)	1,546 (1)	56 (0)	90 (0)	755 (12)	1,166 (115)	6,181 (146)
合計	814 (3)	503 (5)	3,218 (10)	1,608 (1)	102 (0)	172 (0)	3,938 (12)	1,166 (115)	11,521 (146)

\*「作品外資料」とは、美術作品そのものではなく、例えば、書簡のように画家・作家の足跡、交友関係がたどれる資料や作品の制作に使用した道具のように、制作の背景を明らかにするような資料です。(「横浜市美術資料収集方針」の4、「第1項から第3項に関連する資料」が該当します。)

### 主な収蔵品

作家	作品名
牛田雞村	《伊勢物語》
辰野登恵子	《WORK 86-P-7》
石川直樹	「ARCHIPELAGO」シリーズより12点

\*今年度の収集作品については、「横浜美術館収蔵品目録」(平成28年度発行予定)を参照

## 保存・修復

分野	作家名	作品名	収蔵品番号	修復内容
日本画	五姓田芳柳	《大崎屋嘉祢女像》	85-JP-008	額装作品の傷の入ったガラスを低反射アクリルへ交換、中性紙によるマットへの交換
版画	アルフレッド・シスレー	《風景(ロワン河畔の荷車)》	2003-PRF-390	マット装
	恩地孝四郎	《ダイビング》	94-PRJ-011	マット装
		《Lyrique No.22 かけらになつてる幸福》	2000-PRJ-001	剥離部分の接着
写真	清野賀子	《Emotional Imprintings》	2014-PHJ-001～025	マット装
		《The Sign of Life》	※2014-PHJ-012を除く	
		《千葉》「Emotional Imprintings」より	2014-PHJ-012	マット装、額装

# 貸出

## 貸出件数・点数

貸出先総件数：37件(うち海外3件)

貸出総作品数：271点

## 貸出実績

展覧会名称・展覧会会場・展覧会会期	作家名	作品名・収蔵品番号*	
北陸新幹線開業記念「横山大観展 富山を愛した巨匠」 富山県水墨美術館 平成27年3月13日(金)-5月10日(日)	横山大観	《草廬三顧図》	
		《虎溪三笑》	
		《江上舟遊》	
「マグリット展」 国立新美術館 平成27年3月25日(水)-6月29日(月)	ルネ・マグリット	《青春の泉》	
		《王様の美術館》	
京都市美術館 平成27年7月11日(土)-10月12日(月祝) 「セザンヌー近代絵画の父になるまで」 ポーラ美術館 平成27年4月4日(土)-9月27日(日)	ポール・セザンヌ	《縞模様の服を着たセザンヌ夫人》	
		《ガルダヌヌから見たサント=ヴィクトワール山》	
「ムルロ工房と20世紀の巨匠たちーパリが愛したリトグラフ」 DIC川村記念美術館 平成27年4月4日(土)-5月12日(火) 神奈川県立近代美術館 葉山 平成27年5月24日(日)-7月20日(月祝) 島根県立美術館 平成27年7月29日(水)-9月10日(木) 北九州市立美術館 分館 平成27年9月19日(土)-11月3日(火祝)	パブロ・ピカソ	《椅子の女 No.1》	
		《ヴィーナスとキューピッド(クラナツハによる)I》	
		《ヴィーナスとキューピッド(クラナツハによる)II [第1ステート]》	
		《ヴィーナスとキューピッド(クラナツハによる)II [第2ステート]》	
「安田鞞彦生誕130年、小倉遊亀生誕120年 遊亀と鞞彦 一師からのたまもの・受け継がれた美ー」 宇都宮美術館 平成27年4月5日(日)-5月17日(日) ※平成26年度に滋賀県立近代美術館および愛媛県美術館で開 催後、巡回	安田鞞彦	《聖日蓮之門徒》	
		《松風》	
		《窓》	
		《紅花・青花》	
		《夢殿(画稿)》	
		《聖徳太子図》(寄託作品)	
		《不動図》(寄託作品)	
		小倉遊亀	《良夜》
		《並ぶ》	
		《つほみ》	
安田鞞彦、小倉遊亀ほか	水木要太郎(十五堂)宛書簡、スケッチなど計77点 (寄託作品)		
	小林清親	《二重橋前乗馬図》	
「没後100年 小林清親展 文明開化の光と影をみつめて」 練馬区立美術館 ※開館30周年記念 平成27年4月5日(日)-5月17日(日) ※平成26年度に静岡市美術館で開催後、巡回	小林清親	《上野公園画家写生図》	
		《両国雪中》	
		《旧本丸雪晴》	
		《瀧の川の図》	
		《愛宕山の図》	
		《駿河町雪》	
		《川口善光寺雨晴》	
		《道灌山夕日暮》	
		《御城内釣橋之図》	
		《一石橋夕景》	
		《鴨に枯蓮》	
		《隅田川小春風》	
		《不忍池畔雨中図》	
		《大川端石原橋》	
		《向島桜》	
		《茶の水雪》	
		《桜田弁慶堀原》	

貸出

展覧会名称・展覧会場・展覧会会期	作家名	作品名・収蔵品番号*
		《九段馬かけ》
		《佃嶋雨晴》
		《五本松雨月》
		《上野六角茶屋》
		《静岡竜宝山の景》
		《從箱根山中富嶽眺望》
		《箱根神社雪》
		《狐に三日月》
		《鶏にトンボ》
		《第二回内(国)勸業博覧会内五角堂》
		《箱根底倉湯本万年橋》
		《箱根三枚橋雨》
		《箱根湖畔より富士眺望図》
		《多目伊希》
		《浅草寺雪中》
「人間の最も忠実なる友・人間の最も古くからの友 いぬ・犬・イヌ」 渋谷区立松濤美術館 平成27年4月7日(火)-5月24日(日)	中島清之	《犬二匹》
「生誕110年 片岡球子展」 東京国立近代美術館 平成27年4月7日(火)-5月17日(日)	森田曠平	《渡来図》
愛知県美術館 平成27年6月12日(金)-7月26日(日)	片岡球子	《緑蔭》
特別展「狩野芳崖・横山大観・菱田春草・・・」 奈良礼賛～岡倉天心、フェノロサが愛した近代美術と奈良の美～	下村観山	《富士》(82-JP-002)
奈良県立美術館 平成27年4月11日(土)-5月24日(日)		《蘭維》
「夜の画家たち～蠟燭の光とテネブリスム～」 山梨県立美術館 平成27年4月18日(土)-6月14日(日)	小林清親	《今戸夏月》
※平成26年度にふくやま美術館で開催後、巡回	月岡芳年	《東名所墨田川 梅若之古事》
開館記念展 vol.1「モダン百花繚乱『大分世界美術館』」 一大分が世界に出会う、世界が大分に驚く『傑作名品200選』	マックス・エルンスト	《藤原保昌 月下弄笛図》
大分県立美術館 平成27年4月24日(金)-7月20日(月祝)	イヴ・タンギー	《少女が見た湖の夢》
森美術館リニューアル・オープン記念 「シンプルなかたち展:美はどこからくるのか」 森美術館 平成27年4月25日(土)-7月5日(日)	コンスタンティン・ブランクーシ	《風のアルファベット》
春季特別展(自主企画) 「平家物語を描く—近代によみがえった古典—」 井原市立田中美術館 平成27年4月27日(月)-5月31日(日)	木村武山	《空間の鳥》
「速水御舟とその周辺—大正期日本画の俊英たち」 世田谷美術館 平成27年5月2日(土)-7月5日(日)	今村紫紅	《堀河の静》
		《文覚》
		《都乃春》
		《近江八景(小下絵)》(八面組)
		《つたの細道》
		《枇杷二鸞》
		《湯の宿》
		《細雨》
		《潮見坂》
		《沙魚》
	速水御舟	《水仙図》
		《麦》
	小茂田青樹	《横浜海岸通り》
		《逢坂山》
		《ボンボンダリヤ》
「國領経郎展—砂丘に秘められた抒情—」 しもだて美術館 平成27年5月23日(土)-7月12日(日)	國領経郎	《背戸(柏崎)》
		《浚漕船建造中》

美術品の収集、  
保存・修復、貸出

展覧会名称・展覧会会場・展覧会会期	作家名	作品名・収蔵品番号*
		《外人墓地》
		《巽》
		《若ものたち》
		《轍》
		《静止の空間》
		《飛行船の浮ぶ港の風景》
		《手・手・手》
		《兆》
		《手・手・手Ⅱ》
「変化する様式 変わらない人間へのまなざし—小林裕児 1967～2015—」〈多摩美術大学退職記念展〉 多摩美術大学美術館 平成27年5月30日(土)-6月21日(日)	小林裕児	《夢酔》
「Joseph Cornell: Wanderlust」 ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ(ロンドン、イギリス) 平成27年7月4日(土)-9月27日(日) ウィーン美術史美術館(オーストリア) 平成27年10月20日(火)-平成28年1月10日(日)	ジョゼフ・コーネル	《ムツシュ・フォットの孫息子による芝居ホテル、毎週日曜日午後》
「戦後70年記念 20世紀日本美術再見 1940年代」 三重県立美術館 平成27年7月11日(土)-9月27日(日)	福原信三	《孔子廟 台湾台南》
		《部落の朝 台湾日月潭》
	福原路草	《枯木 上高地》
		《朝 奥日光》
	土門 拳	《藤田嗣治》
		《川合玉堂》
	木村伊兵衛	《母と子(東京)》
		《角 梨枝子》
「画家たちと戦争: 彼らはいかにして生きぬいたのか」 名古屋市美術館 平成27年7月18日(土)-9月23日(水祝)	横山大観	《霊峰不二》
	恩地孝四郎	《ダイビング》
	岡 鹿之助	《橋》
特別展「被爆70周年: ヒロシマを見つめる三部作 第1部」 「ライフ=ワーク」 広島市現代美術館 平成27年7月18日(土)-9月27日(日)	宮崎 進	《ヤプロノイ》
		《狂った捕虜》
		《哀史》
		《捕虜》
「伝説の洋画家たち 二科100年展」 東京都美術館 平成27年7月18日(土)-9月6日(日) 大阪市立美術館 平成27年9月12日(土)-11月1日(日) 石橋美術館 平成27年11月7日(土)-12月27日(日)	岡田謙三	《シルク》
「芸術植物園」 愛知県美術館 平成27年8月7日(金)-10月4日(日)	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	《シダのフォトグラム》2点
	アルベルト・レンガー=パッチュ	《植物標本のフォトグラム(ネガ)》
	梅阪鶯里	《ヤネバンダイソウ》
		《唐瓜》
		《桜》
	恩地孝四郎	《トチ、『博物志』より》
		《テュリップ・開花体、『博物志』より》
		《アスパラガス、『博物志』より》
		《ホウ・枯葉、『博物志』より》
		《さぼてん、『博物志』より》
開館3周年記念展「横尾忠則 続・Y字路」 横尾忠則現代美術館 平成27年8月8日(土)-11月23日(月祝)	横尾忠則	《黒いY字路7》
		《黒いY字路11》
		《黒いY字路13》

貸出

展覧会名称・展覧会場・展覧会会期	作家名	作品名・収蔵品番号*
開館記念展「アイ・ガット・グラス! アイ・ガット・ライフ! 情熱の現代ガラス芸術」 富山市ガラス美術館 平成27年8月22日(土)-11月8日(日)	パヴェル・フラヴァ	《ほころびゆく花》 《ストリスブ(帯)》
「英遠と万寿三 創作のひみつ 画室のスケッチから」 滝川市美術自然史館 平成27年9月12日(土)-10月18日(日)	岩橋英遠	《暑寒別六月に入る(山頂)》 《暑寒別六月に入る(湿原残雪)》 《耀》
福山市市制施行100周年記念協賛 「ピカソ展 誰でもわかる天才の名画」 ふくやま美術館 平成27年9月19日(土)-11月23日(月祝)	パブロ・ピカソ	《ひじかけ椅子で眠る女》
開館30周年記念 「アルフレッド・シスレー展—印象派、空と水辺の風景画家—」 練馬区立美術館 平成27年9月20日(日)-11月15日(日)	アルフレッド・シスレー	《風景(ロワン河畔の荷車)》 《鷺鳥のいる河畔》
「Ishuchi Miyako: Postwar Shadows」 J・ポール・ゲティ美術館(ロサンゼルス、アメリカ) 平成27年10月6日(火)-平成28年2月21日(日)	石内 都	《絶唱・横須賀ストーリー》より 「大津町」「久里浜」3点(2001-PHJ-003,037,039) 「不入斗町」「馬堀海岸」「稲岡町」(2001-PHJ-007) 「汐入町」(2001-PHJ-008)「本町」5点、「日の出町」 「衣笠栄町」「坂本町」2点、「若松町」(2001-PHJ-049) 「浦郷町」 ※ただし、「久里浜」(2001-PHJ-003)と「馬堀海岸」は展示構成の都合により未陳
「Japans Liebe zum Impressionismus Von Monet bis Renoir」 ドイツ連邦共和国美術展示館(ボン) 平成27年10月8日(木)-平成28年2月21日(日)	ポール・セザンヌ	《ガルダンヌから見たサント=ヴィクトワール山》
特別展「浮世絵から写真へ—視覚の文明開化—」 東京都江戸東京博物館 平成27年10月10日(土)-12月6日(日)	下岡蓮杖	《傘をもつ女》 《三人の少年》 《琴を弾く女》
	五姓田芳柳	《浪花婦人像(仮題)》 《大崎屋嘉祢女像》
	伝 五姓田芳柳	《外国人男性和装像》 《外国人女性和装像》
	渡辺幽香	《白衣婦人像》
	小川一真	《「百美人展」(浅草・凌雲閣)のアルバム》より「こつま、新橋」「ことよ、新橋」「ももこ、新橋」「たみじ、新橋」「きくりゆう、新橋」「おまる、新橋」「まんざい、新橋」「たまい、日本橋」
「没後70年 飛田周山展—五浦で学んだ画家たち」 茨城県天心記念五浦美術館 平成27年10月24日(土)-12月13日(日)	今村紫紅	《平親王》 《伊達政宗》
「藤田喬平の芸術—『現代』としての伝統」 富山市ガラス美術館 平成27年11月21日(土)-平成28年1月31日(日)	藤田喬平	《創生》 《飾篋「紅白梅」》 《飾篋「日輪」》
「ピアズリーと日本」 宇都宮美術館 平成27年12月6日(日)-平成28年1月31日(日)	長谷川 潔	《トラビスト修道院礼拝堂》 《洋人の庭》
滋賀県立近代美術館 平成28年2月6日(土)-3月27日(日) ※平成28年度に新潟県立万代島美術館、石川県立美術館に巡回予定	長谷川潔関連資料	『仮面』第2巻第8号よりピアズリー「サロメ」挿絵の複製画 『仮面』第4巻第5号より永瀬義郎「サロメ」
「恩地孝四郎展」 東京国立近代美術館 平成28年1月13日(水)-2月28日(日) ※平成28年度に和歌山県立近代美術館に巡回予定	恩地孝四郎	《自画像》 《ダイビング》 《ウラシマソウ・芽》 《パパイア、『博物志』より》

展覧会名称・展覧会場・展覧会会期	作家名	作品名・収蔵品番号*
		《オホクリアリマキの集群、『博物志』より》
		《失題[花]》
		《中国にて、九江》
		《中国にて》
		《Lyrique No.22 かけらになつてる幸福》
平成27年度横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展 「『自然の鉛筆』を読む」 横浜市民ギャラリーあざみ野 平成28年1月30日(土)-2月21日(日)	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・ タルボット	《シダのフォトグラム》(83-PHF-07G)
		《窓、ラコック・アビー(ネガ)》
		《雪景、ラコック・アビー》
		《雪景、ラコック・アビー(ネガ)》
「嶋田しづ・磯見輝夫展」 横須賀美術館 平成28年2月6日(土)-4月10日(日)	嶋田しづ	《舞上がる虹ーテアトルにて》
「安田鞞彦展」 東京国立近代美術館 平成28年3月23日(水)-5月15日(日)	安田鞞彦	《聖日蓮之門徒》
		《松風》
		《窓》

\*同一作品名が複数ある作品については収蔵品番号を補記

# 広報の活動、外部と連携した事業

## 広報

個別の展覧会や事業ごとの宣伝だけでなく、横浜市の芸術拠点としての「横浜美術館」の発信、芸術文化の振興のために、広報を重視し、戦略的に取り組んでいます。

私たちが目指している方向とそのための取組み、さまざまな活動の内容とその成果も含め、横浜美術館を支えていただいている市民やメディアそして社会との信頼と支援の関係性をより強固に形成してゆきたいと考えます。そのために「横浜美術館」としての発信を行うパンフレットや刊行物等を発刊するとともに、さまざまな媒体を活用した迅速かつ計画的なPRに取り組んでいます。

また、横浜美術館を取り巻く社会の構造、また市民の生活行動や芸術文化に対するニーズなども今後大きく変化していきます。それらを分析、把握し、私たちの事業や管理運営活動に反映させ、展開していくことが必要です。マーケティング戦略の再構築をすべく、取り組んでいます。

### 露出件数

新聞	184
美術雑誌	205
一般雑誌	391
ウェブ	678
TVラジオ	76
その他	39
海外	80
合計	1,653



石田尚志展 記者会見



蔡國強展 火薬絵画制作取材風景



蔡國強展 火薬絵画制作内覧会



蔡國強展 5万人達成セレモニー



蔡國強展 近隣アートプログラム



中島清之展 近隣アートプログラム

### 展覧会広報

#### ◎石田尚志展

##### 記者会見

日時：平成27年3月27日(金) 14:00～14:30  
 登壇者：石田尚志、逢坂恵理子、松永真太郎  
 会場：円形フォーラム  
 参加人数：45人

##### 報道内覧会

日時：平成27年3月27日(金) 13:00～18:00  
 会場：展示室  
 参加人数：85人

#### ◎蔡國強展

##### 記者会見

日時：7月10日(金) 14:00～14:30  
 登壇者：蔡 國強、逢坂恵理子  
 会場：レクチャーホール  
 参加人数：100人

##### 報道内覧会

日時：7月10日(金) 13:00～18:00  
 会場：展示室  
 参加人数：171人

#### ◎中島清之展

##### 記者会見

日時：11月2日(月) 14:00～14:30  
 登壇者：逢坂恵理子、内山淳子  
 会場：アートギャラリー2  
 参加人数：25人

##### 報道内覧会

日時：11月2日(月) 13:00～18:00  
 会場：展示室  
 参加人数：58人

#### ◎村上隆コレクション展

##### 記者会見

日時：1月29日(金) 16:00～16:45  
 登壇者：村上 隆、逢坂恵理子、三木あき子  
 会場：レクチャーホール  
 参加人数：94人

##### 報道内覧会

日時：1月29日(金) 15:00～20:00  
 会場：展示室  
 参加人数：153人

## 全館広報

### ウェブサイト

アクセス数: 4,742,010pv  
(平成28年3月31日現在)

### Twitter

フォロワー数: 116,179  
(平成28年3月31日現在)

### Facebook(6月8日開設)

ページいいね数: 3,574  
(平成28年3月31日現在)

### メールニュース

登録者数: 7,130人  
(平成28年3月31日現在)  
発行数: 定期便25回、臨時便13回  
トピック: 新規登録キャンペーンを2回実施

### コレクションを活用した広報ツール制作

ポーチ3種各400個: アントニオ・ペアト《遣欧使節とスフィンクス》、エドワード・マイブリッジ《ジャンプする男》、片岡球子《富士》

### ◎メディア懇談会など

#### 蔡國強展の火薬絵画制作の取材

日時: 6月20日(土)  
17:00~18:30  
会場: グランドギャラリー  
参加人数: 88人

#### 文化記者向け

平成28年度企画展紹介と懇談会  
日時: 2月29日(月)  
13:00~15:00  
会場: 8階レセプションルーム & スクールスペース  
参加人数: 12人

### ◎首都圏に焦点をあてた広報展開

- 石田尚志展におけるアートフェア東京、六本木アートナイト、恵比寿映像祭、文化庁メディア芸術祭での相互特別割引実施
- 蔡國強展における都内主要駅での交通広告展開
- 中島清之展における郷さくら美術館、三溪園との観覧料相互割引実施
- 村上隆コレクション展における森美術館との観覧料相互割引実施

### ◎海外メディアへの広報

石田尚志展、蔡國強展、村上隆コレクション展、荒木悠展英文プレスリリースの海外プレスへの送付

### ◎近隣アートプログラム

#### MARK IS みなとみらい店長会等

日時: 平成27年3月-平成28年3月 計14回  
会場: レクチャーホール  
参加人数: 計1,852人

#### 西区連合町内会・自治会連絡協議会

日時: 3月18日(金)  
会場: 円形フォーラム  
コレクション展展示室  
参加人数: 24人

#### MMcc(Minato Mirai community club)

●石田尚志展  
日時: 4月22日(水)  
19:00~21:00  
参加費: 2,400円  
参加団体数: 8団体  
参加人数: 33人

### ●蔡國強展

日時: 9月16日(水)  
19:00~20:00  
参加費: 1,000円  
参加団体数: 10団体  
参加人数: 108人

### ●中島清之展

日時: 11月27日(金)  
19:00~21:00  
参加費: 2,400円  
参加団体数: 7団体  
参加人数: 32人

### ●村上隆コレクション展

日時: 2月24日(水)  
19:00~21:00  
参加費: 1,000円  
参加団体数: 8団体  
参加人数: 114人

### みなとみらいかもめSCHOOL

市民のアトリエエデューカーと一緒にオリジナルスタンプづくりに挑戦!  
日時: 6月17日(水), 24日(水)  
19:00~21:00  
講師: 櫻庭瑠実  
会場: 市民のアトリエ  
参加費: 3,500円  
参加人数: 10人, 11人

## マーケティング

### 展覧会アンケートに見る来場者プロフィール \*回収率=回収数÷総入場者数

	石田尚志展	蔡國強展	中島清之展	村上隆コレクション展
総数	754通(*回収率3.2%)	1,305通(*回収率1.4%)	706通(*回収率2.3%)	676通(*回収率1.1%)
来館回数	11回以上	21%	15%	21%
	6~10回	22%	15%	21%
	2~5回	33%	32%	33%
	今回が初めて	21%	35%	18%
	不明	3%	3%	2%
居住地	市内	33%	35%	32%
	市外	64%	58%	65%
	不明	3%	7%	3%
性別	女性	63%	64%	62%
	男性	34%	31%	36%
	不明	3%	5%	2%
年齢	19歳以下	8%	19%	8%
	20代	23%	15%	7%
	30代	18%	12%	12%
	40代	22%	16%	18%
	50代	16%	16%	19%
	60代以上	11%	16%	35%
	年齢不明	3%	6%	4%

展覧会報告会 第1回 6月9日(火) 第2回 11月10日(火) 第3回 2月9日(火) 第4回 4月18日(月)

## 外部と連携した事業

文化芸術創造都市「横浜」の中心的な施設として、横浜市の都市戦略である創造都市形成や、シティ・セールス、観光プロモーションと連携した事業を展開しています。また、横浜市芸術文化振興財団は、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫1号館などを管理運営しています。それぞれに専門分野がありますが、社会課題への対応や子どもへの取組みなどの共通の課題については、横断的な検討体制により連携して実施します。

### 都市戦略との連携

#### ◎みなとみらい21地区に貢献できるイベント

《よこしん》プレゼンツ～横浜ベイ・オーケストラメンバーによる弦楽四重奏の調べ～

日時：11月8日(日)  
11:00～11:20, 13:30～13:50  
15:00～15:20

会場：グランドギャラリー  
参加人数：430人

\*Heart to Art (p.57) による開催

#### オートカラーアワード2015-2016

日時：12月11日(金), 12日(土)  
10:00～18:00

会場：グランモール公園「美術の広場」  
レクチャーホール

主催：一般社団法人日本流行色協会  
参加人数：1,100人

#### ◎横浜市と連携したレセプション会場の提供

##### BioJapan 2015レセプション

日時：10月15日(木) 16:00～19:30  
会場：グランドギャラリー、蔡國強展展示室  
参加人数：490人

##### 第56回日本肺癌学会学術レセプション

日時：11月26日(木) 18:00～21:30  
会場：グランドギャラリー、中島清之展展示室  
参加人数：67人

#### ◎横浜市が推進するイベント等との連携

##### クラシック・ヨコハマ2015

●音遊びワークショップ&アート作品鑑賞会  
日時：11月7日(土)  
11:00～12:00, 13:30～14:30  
会場：8階レセプションルーム  
参加人数：97人

##### ●ミュージアムコンサートin横浜美術館 Aura(クラシック・アカペラ)

日時：11月25日(水)  
14:30～15:00, 16:00～16:30  
会場：グランドギャラリー  
参加人数：320人

##### フォト・ヨコハマ2016 パートナーイベント

●コレクション展第3期「無名都市 ～現代の写真に見る匿名の風景」写真展示室  
\*コレクション展 第3期 参照(p.22-23)

##### ●New Artist Picks 荒木悠展 複製神殿 \*荒木悠展 参照(p.24-25)

##### ●フォトヨコハマプレゼンツ Open Show CP+2016

日時：2月27日(土) 14:00～16:30  
会場：レクチャーホール  
参加費：無料  
参加人数：128人



《よこしん》コンサート



オートカラーアワード2015-2016



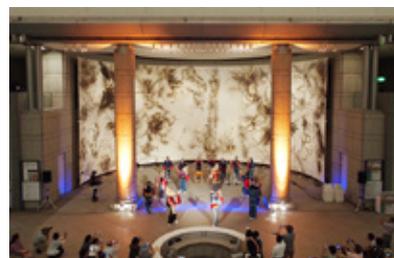
BioJapan 2015レセプション



Aura(クラシック・アカペラ)



Open Show CP+2016



ダンス事業連携 西馬音内盆踊りの夕べ

## 専門館連携

### 横浜みなとみらいホール連携

#### ●日本フィル「大人のための音楽創造ワークショップ」

日時:4月4日(土) 11:00~16:00

会場:8階レセプションルーム

参加費:無料

参加人数:27人

#### ●ミュージアムコンサートin 横浜美術館

\*都市戦略との連携 クラシックヨコハマ  
2015 参照(p.56)

### 横浜赤レンガ倉庫連携

#### ●舞踊史を学ぶ講座「ダンスの歴史と現在」 「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2015」参加イベント

日時:5月22日(金) 19:00~21:00

23日(土)・24日(日) 13:30~15:30

会場:8階レセプションルーム

コレクション展ホワイエ

講師:三浦雅士(文芸評論家)

中村恩恵(振付家)

受講料:3回受講 5,000円

1回受講 2,000円

参加人数:45人,34人,34人

#### ●横浜赤レンガ倉庫ダンス・ワーキング・プログラム1

市民交流プログラム II.納涼会~蔡國強展  
鑑賞と西馬音内盆踊りの夕べ

日時:8月8日(土) 16:30~19:30

会場:展示室, グランドギャラリ

参加費:2,500円

参加人数:187人

#### ●横浜赤レンガ倉庫ダンス・ワーキング・プログラム2

夏休みに楽しくダンス・ワークショップ!

カラダで表現するって楽しいね!

~横浜美術館子どものアトリエ親子講座~

小学生親子コース

日時:8月22日(土)・23(日)

10:00~11:30

参加費:1組2,000円

対象:小学校1・2年生と保護者

参加人数:6組14人

年長さん親子コース

日時:8月22日(土) 13:30~15:00

参加費:1組1,000円

対象:幼稚園・保育園の年長児と保護者

参加人数:12組25人

会場:子どものアトリエ

講師:中村恩恵(振付家)

首藤康之(バレエダンサー)

子どものアトリエエドキュケーター

## 外部との連携

### 神奈川県歴史資料取扱機関研究会

日時:9月11日(金) 14:00~16:00

会場:8階レセプションルーム

参加人数:33人

### ルーマニア大使館共催シンポジウム

「ブランクーシとイサム=ノグチの交流:日羅文化交流の証」

日時:10月12日(月祝) 14:00~17:00

会場:円形フォーラム

参加人数:55人

### 栄区民文化センター リリス藝術大学美術学部 第4回『横浜美術館ツアー』

日時:11月13日(金) 10:30~12:00

担当:関 淳一, 太田雅子

会場:円形フォーラム, 中島清之展展示室

美術情報センター, 子どものアトリエ

市民のアトリエ

参加人数:47人

### 茅野市美術館ボランティアへのレクチャー及び交流

日時:2月7日(日) 10:00~16:00

担当:関 淳一, 河上祐子

会場:8階スクールスペース, 子どものアトリエ

市民のアトリエ

参加人数:35人

### 神奈川県ライトセンター

#### ●土粘土で大きな島をつくろう!

日時:2月11日(木祝) 14:00~16:00

対象:小学校3年生~中学校3年生までの視

覚障がい児とその家族

参加人数:25人

#### ●「子どものアトリエ」で思いっきり遊ぼう!

日時:2月27日(土) 10:00~13:00

対象:概ね2歳~小学校3年生までの視覚障

がい児とその家族

参加人数:21人

会場:子どものアトリエ

担当:山崎 優, 岡崎智美, 高徳早矢香

## Heart to Art(企業向け芸術支援プログラム)

Heart to Artは、企業からの支援により美術の普及活動や市民へのサービスを充実させるプログラムです。企業と美術館がそれぞれのノウハウを活かすことにより幅広い展開を目指しています。

・参加企業: NTTソフトウェア株式会社

寺田倉庫

横浜信用金庫

# 来館者へのおもてなし

## ビジターサービス

さまざまな方に向けたサービスとして新たに託児サービスや企画展観覧料の高齢者割引を実施しました。また、展覧会へのご理解を気軽に深めていただけるよう、引き続き個人や団体向けの鑑賞レクチャーを開催しました。エントランスホールであるグランドギャラリーでは、季節感のある空間演出を行っています。

### 個人向け鑑賞前レクチャー

**展覧会・ココがみどころ！  
ボランティアによる個人向けガイダンス**  
日時：石田尚志展・中島清之展会期中  
全52回  
会場：グランドギャラリー  
参加人数：1,523人

### 団体向け鑑賞前レクチャー

日時：各企画展・コレクション展会期中  
全32回  
会場：横浜美術館内各所  
参加人数：1,483人

### 横浜アートde街コンin 横浜美術館

日時：8月1日(土)、1月9日(土)、2月27日(土)  
16:30~20:30  
会場：蔡國強展示室、中島清之展展示室  
村上隆コレクション展示室  
参加人数：78人、35人、71人  
主催：街コンジャパン(株式会社リンクバル)

### グランドギャラリーの演出

**生花装飾**  
7月10日(金)  
\*蔡國強展オープニング  
1月3日(日)-1月11日(月祝)  
\*正月装花

### 休憩処設営

期間：蔡國強展会期中  
中島清之展会期中

### ソーシャルインクルージョン

●**託児サービス実施**  
日時：9月18日(金)、19日(土)、20日(日)  
13:30~16:00  
会場：円形フォーラム  
対象：満1歳~未就学児  
人数：4人、3人、7人

●**閉館放送の多言語化**  
開始日：9月18日(金)

●**企画展観覧料の高齢者割引開始**  
開始日：11月3日(火祝)



中島清之展 ココがみどころ!



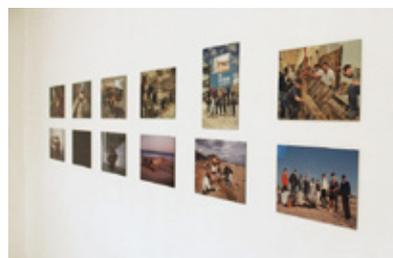
グランドギャラリー 正月装花



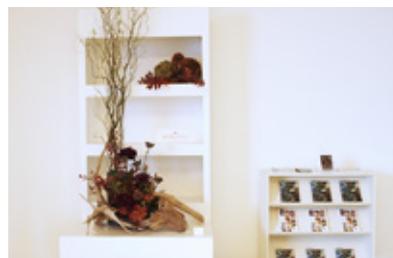
託児サービス



ショップ 蔡國強展



カフェ 「蔡國強といわきの物語」



カフェ フラワースクール生徒作品展示

## ミュージアムショップとカフェ

### ◎ミュージアムショップ

横浜美術館のコレクションをデザインしたオリジナルグッズや企画展関連グッズをはじめ、過去の展覧会図録や、美術に楽しむための書籍類、ポストカードやステーションナリーなどの身近な商品から、お子様向けの絵本など、約1,000種の商品をお取扱っています。  
営業時間：11:00～18:00

#### オリジナルグッズ

石田尚志展と連動したクリアファイルを1種作成。蔡國強展との連動ではTシャツ、トートバッグの制作。10月にコレクションによるオリジナルポストカードを49種（新規30, 増刷19）作成

#### オンラインショップ

200点以上の商品を掲載。特設カテゴリとして企画展毎のほか、「母の日」(5月)、「クリスマス」(12月)、「バレンタイン」(2月)を開設。

### ◎Café小倉山

展覧会の余韻を感じながらくつろげるスペースで飲み物や軽食を提供しています。  
営業時間：10:45～18:00 ラストオーダー17:30

#### 展覧会限定メニュー

- 石田尚志展  
渦巻くらテ  
塩キャラメルプレート
- 蔡國強展  
パステル花火パフェ  
桜スムージー
- 中島清之展  
りんごアイスのぎゅうひクレープ  
アップルミルクティー
- 荒木悠展  
アテネフロート  
パルテノンラテ

#### イベント

- 特別展示「蔡國強といわきの物語」  
期間：9月1日(火)～10月18日(日)
- イルミネーション装飾  
期間：10月29日(木)～2月29日(月)
- ムサ・フラワーコーディネータースクール  
生徒作品展示  
期間：11月27日(金)～12月28日(月)

#### 期間限定メニュー

- 春：桜バンケーキ  
桜のカフェモカ  
桜モヒート
- 秋：パンプキンサラダのピザトースト  
キャラメルナッツラテ
- 冬：ベリークリスマスバンケーキ  
ショートケーキラテ
- クリスマス：バナナフレンチトースト  
スイートポテトのホワイトラテ
- 正月：おしるこ
- 西区キャンドルアート限定：  
ひこにゃんバナナラテ  
にしまろちゃんバンケーキ

## 国際的な交流・発信

### 来館者 (肩書きは来館・視察当時。中国系、韓国系の名前は原則氏名の順)

スージー・リンガム 他1人  
シンガポール美術館 館長  
シンガポール  
石田尚志展視察  
4月13日(月)

シュテファン・グラフ・フォン・デア・シューレンブルク  
フランクフルト市立工芸美術館 東洋部長  
ドイツ  
フランクフルトと横浜が、友好都市であることから、将来的な事業連携について意見交換  
5月15日(金)

ジョン・チーズマン 他2人  
モスマン市立美術館 館長  
オーストラリア  
石田尚志展視察および館長表敬訪問  
5月16日(土)

ペドロ・ブランカンチ 他1人  
ブラジル大使館 文化担当  
ブラジル(日本在住)  
今後の展覧会  
5月16日(土)

蔡國強 他、蔡スタジオ・スタッフ  
中国  
蔡國強展新作制作および展示作業他  
6月15日(月)-7月12日(日)

キム・ヨンスン 他1人  
釜山市立美術館 次期館長(9月着任)  
韓国  
今後の交流  
8月30日(日)

カルロス・アルマーダ 他2人  
メキシコ大使館 大使  
メキシコ(日本在住)  
蔡國強展、コレクション展鑑賞  
9月29日(火)

ベルナール・プリスティン他、ポンピドゥーセンター友の会会員  
ポンピドゥーセンター 館長  
フランス  
蔡國強展、コレクション展鑑賞  
10月7日(水)

ラドゥ・シェルバン 他2人  
ルーマニア大使館 特命全権大使  
ルーマニア(日本在住)  
シンポジウム参加  
10月12日(月祝)

アン・バリントン  
アイルランド大使館 大使  
アイルランド(日本在住)  
シンポジウム参加、蔡國強展鑑賞  
10月12日(月祝)

ツァイ・シャオイー 他1人  
国立台湾美術館 展示部部长  
台湾  
12月25日(金)

ラーナ・デヴェンポート  
オークランド美術館 館長  
ニュージーランド  
村上隆コレクション展鑑賞  
2月9日(火)

マリア・リンド  
光州ビエンナーレ アーティストイック・ディレクター  
カタリーナ・ピエール  
ビルド・ムセアット現代美術館 館長  
セシリア・ヴィーデンハイム  
マルメー美術館 館長  
アンナ・リヴィオン・イングヴァション  
イエブレ・アート・センター 館長  
スウェーデン  
村上隆コレクション展鑑賞  
2月26日(金)

シュテファン・グラフ・フォン・デア・シューレンブルク  
フランクフルト市立工芸美術館 東洋部長  
ドイツ  
友好都市としての将来的な事業連携について意見交換  
3月1日(火)

ニール・マッコノン  
パービカンインターナショナルエンタープライズ 代表  
イギリス  
村上隆コレクション展鑑賞および意見交換  
3月2日(水)

クシシュトフ・ヴォディチコ、エヴァ・ハラバシュ  
ハーバード大学教授 客員助教授  
アメリカ合衆国  
村上隆コレクション展鑑賞および意見交換  
3月7日(月)

ペーター・アンダース 他1人  
東京ドイツ文化センター 所長  
ドイツ(日本在住)  
村上隆コレクション展鑑賞  
3月15日(火)

ジョン・テイビス  
テラ・アメリカ美術基金 ヨーロッパおよびアカデミックプログラム エグゼクティブ・ディレクター  
アメリカ合衆国  
意見交換  
3月30日(水)



蔡國強展 開会式



蔡國強展 火葉絵画制作



蔡國強展 火葉絵画制作



ルーマニア大使館 シンポジウム



国際展についてのシンポジウム



地域創造大賞 表彰式

## 海外出張

### 逢坂恵理子

イタリア

国際美術展調査(ヴェネチア・ビエンナーレ)  
5月9日(土)・10日(日)

### 柏木智雄

オーストラリア

Museum of Old and New Art, Brisbane  
Art Gallery

平成27年度企画展および国際巡回展に関わる業務

9月14日(月)-18日(金)

台湾

「博物館と文化2015台北会議」【主催: ICOM-  
ICOFOM-ASPAC他】とシンポジウム出席  
(招待)

世界宗教博物館、台北市立美術館、鳳甲美術館、  
国立台北教育大学附属北師美術館

企画展国際巡回に関わる業務

10月18日(日)-21日(水)

### 中村尚明

ドイツ

ドイツ連邦共和国美術展示館

クーリエ業務

9月25日(金)-30日(水)

### 内山淳子

アメリカ合衆国

J・ポール・ゲティ美術館、ロサンゼルス郡立  
美術館

クーリエ業務および平成28年度企画展に関  
わる業務

2月28日(日)-3月3日(木)

### 木村絵理子

韓国

平成28年度企画展にかかわる業務

9月7日(月)-9日(水)

アメリカ合衆国

J・ポール・ゲティ美術館

クーリエ業務

9月21日(月祝)-26日(土)

オーストラリア

ウィーン美術史美術館

クーリエ業務

1月10日(日)-15日(金)

オーストラリア

シドニー・ビエンナーレ、アジア・パシフィック・  
トリエンナーレ

平成28年度企画展にかかわる業務

3月15日(火)-20日(日祝)

### 松永真太郎

イギリス

ロイヤル・アカデミー・オブ・アーツ

クーリエ業務

6月23日(火)-27日(土)

オーストラリア

ウィーン美術史美術館

クーリエ業務

10月6日(火)-10日(土)

### 金井真悠子

中国

国際交流基金 平成27年度専門家等交流事

業キュレーター中国視察派遣

3月9日(水)-16日(水)

## シンポジウム

ヨコハマトリエンナーレ2017に向け、「国際  
展」の課題と可能性を多角的に考察するシン  
ポジウムを開催しました。

題名: 日本の国際展のいま、未来—美術館、  
地域といかにして共栄しえるか

日時: 10月11日(日) 14:00~17:30

会場: 円形フォーラム

登壇者: 坪戸雅彦(あいちトリエンナーレ  
2016チーフ・キュレーター)

名和晃平(彫刻家/SANDWICH  
ディレクター/京都造形芸術大学大  
学院教授)

逢坂恵理子

モデレーター: 飯田志保子(キュレーター/  
東京藝術大学美術学部先端

芸術表現科准教授)

参加人数: 98人

## 受賞

### 平成27年度地域創造大賞(総務大臣賞)

[受賞理由]

横浜トリエンナーレを開催する国際都市・横  
浜のシンボル施設。現代作家の大規模な個  
展をはじめとした世界的な視野に立つ企画  
展、1万点を超える充実したコレクションを活  
かしたコレクション展、若手アーティストを取  
り上げる「New Artist Picks」に加え、子ども  
のアトリエなどの教育普及事業にも力を入れ  
るなど、創造的な国際都市のシンボルとして  
貢献した。



## 資料

### 入館者数・収支

#### ◎入館者数

##### 経年推移

平成元年度	1,127,386人	平成10年度	278,954人	平成19年度	413,410人
平成2年度	990,818人	平成11年度	792,905人	平成20年度	770,310人
平成3年度	555,276人	平成12年度	1,082,553人	平成21年度	540,047人
平成4年度	541,465人	平成13年度	862,895人	平成22年度	1,408,713人
平成5年度	1,327,380人	平成14年度	372,395人	平成23年度	459,716人
平成6年度	528,995人	平成15年度	780,928人	平成24年度	662,159人
平成7年度	989,037人	平成16年度	331,873人	平成25年度	1,058,689人
平成8年度	344,239人	平成17年度	1,527,694人	平成26年度	529,748人
平成9年度	942,509人	平成18年度	341,657人	平成27年度	533,750人

(平成28年3月31日現在)

#### 平成27年度事業別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展	10,735	12,923	0	17,143	29,747	23,868	21,194	11,351	8,598	12,756	20,764	36,939	206,018
コレクション展	12,011	15,273	0	20,090	38,598	25,938	21,610	12,779	9,651	13,279	22,155	38,635	230,019
New Artist Picks展	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,594	11,763	13,357
美術情報センター	1,445	1,540	683	1,682	2,346	1,645	1,352	1,059	867	1,154	1,390	1,669	16,832
鑑賞サポート	454	633	79	583	1,100	716	269	249	351	216	534	1,054	6,238
子どものアトリエ	2,026	2,769	3,001	2,361	1,992	2,631	2,338	3,096	1,201	2,169	2,009	1,489	27,082
市民のアトリエ	16	486	581	593	199	345	673	662	479	517	690	540	5,781
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	474	433	537	799	426	459	177	1,157	352	242	322	911	6,289
広報の活動、外部と連携した事業	524	842	238	499	627	864	745	1,474	664	392	604	189	7,662
その他	1,230	1,355	873	934	347	2,147	1,155	1,543	2,811	394	709	974	14,472
合計	28,915	36,254	5,992	44,684	75,382	58,613	49,513	33,370	24,974	31,119	50,771	94,163	533,750

#### ◎収支

##### 収入

指定管理料	759,971,000
利用料金収入	60,928,804
自主事業収入	208,879,818
雑入	66,014,702
合計	1,095,794,324

##### 支出

人件費	314,299,315
事務費	7,347,038
事業費	363,278,808
管理費	225,161,772
公租公課	31,342,943
事務経費	139,175,569
合計	1,080,605,445

## 役員等・組織図

### 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団役員

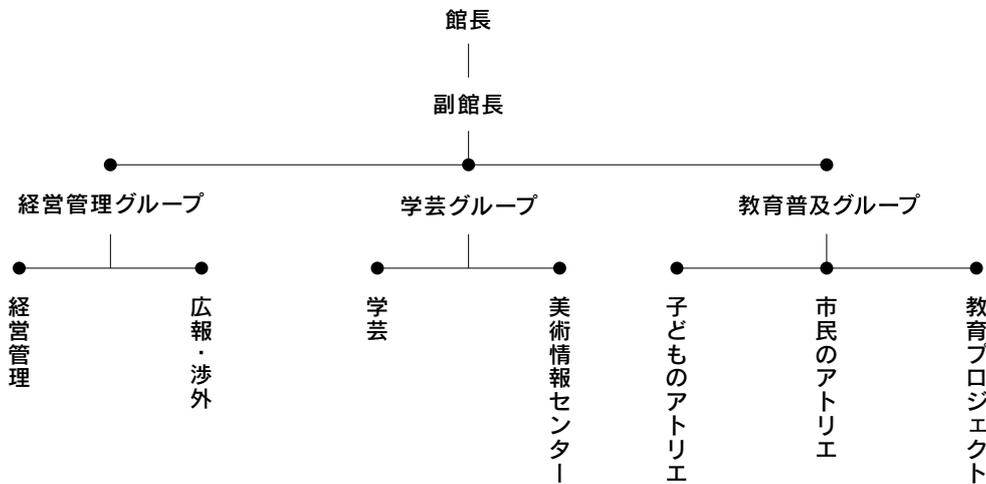
理事長	澄川喜一	彫刻家／元東京藝術大学 学長(代表理事)
専務理事	島田京子	元日本女子大学事務局長(代表理事)
理事	星崎雅代	事務局長 兼 総務グループ長(業務執行理事)
	藤崎信裕	経営企画室長(業務執行理事)
	逢坂恵理子	横浜美術館 館長(業務執行理事)
	中村雅之	横浜能楽堂 館長(業務執行理事)
	恵良隆二	三菱一号館美術館 展覧会プロデューサー
	近澤弘明	株式会社近沢レース店 代表取締役社長
	富岡順一	前国際交流基金 事業開発戦略室長
	久野敦子	公益財団法人セゾン文化財団 プログラム・ディレクター
監事	齋藤貴司	ハイ・タックス税理士法人 代表社員 税理士
	柴田悟一	前横浜商科大学学長／横浜市立大学 名誉教授

### 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団評議員

上野 孝	横浜商工会議所 会頭／上野トランステック株式会社 代表取締役会長兼社長
大加章雅	NHK横浜放送局 局長
新堀豊彦	横浜能楽連盟 名誉会長
鈴木 隆	株式会社横浜国際平和会議場 代表取締役社長
中村行宏	株式会社テレビ神奈川 代表取締役社長
中山こずゑ	横浜市文化観光局 局長
並木裕之	株式会社神奈川新聞社 代表取締役社長
原 範行	株式会社ホテル、ニューグランド 代表取締役会長／原地所株式会社 代表取締役社長

(平成28年3月31日現在)

### 横浜美術館組織図



## 職員名簿

館長		逢坂恵理子
経営管理グループ	グループ長	高橋三男
	経営管理	担当グループ長 兼 チームリーダー 杉浦正美
		施設担当リーダー 新海 実
		担当リーダー 佐藤正美
		担当リーダー 吉川由紀子
		相原佳奈子
		足立陽子
		下原瑞穂
		永田麻子
		普川由貴子
		森本 栄
	広報	担当グループ長 西澤 洋
	広報・渉外	チームリーダー 宮野律子
		担当リーダー 襟川文恵
		担当リーダー 藤井聡子
		工藤千愛子
		窪田知恵
学芸グループ	グループ長・首席学芸員	柏木智雄
	グループ長・首席学芸員	沼田英子
	学芸	主任学芸員(チームリーダー) 中村尚明
		司書/主任学芸員(チームリーダー) 八柳サエ
		主任学芸員(チームリーダー) 内山淳子
		主任学芸員(担当リーダー) 木村絵理子
		担当リーダー 庄司尚子
		主任学芸員(担当リーダー) 松永真太郎
		学芸員 大澤紗蓉子
		学芸員 片多祐子
		学芸員 坂本恭子
		学芸員(兼教育普及グループ) 金井真悠子
		大沢知二
		レジストラー 小島明美
	美術情報センター	司書 吉田龍一
教育普及グループ	グループ長・首席エドゥケーター	関 淳一
	子どものアトリエ	担当グループ長・首席エドゥケーター 山崎 優
		主任エドゥケーター(担当リーダー) 岡崎智美
		創造・造形エドゥケーター 高徳早矢香
	市民のアトリエ	主任エドゥケーター(チームリーダー) 木下真博
		主任エドゥケーター(担当リーダー) 柳川文秀
		創造・造形エドゥケーター 櫻庭瑠実
	教育プロジェクト	主任エドゥケーター/主任学芸員(チームリーダー) 端山聡子
		鑑賞教育エドゥケーター/学芸員(兼学芸グループ) 太田雅子
		鑑賞教育エドゥケーター 河上祐子

43名(平成28年3月31日現在)

# 条例・施行規則

## 横浜美術館条例

昭和63年9月24日  
条例第44号

横浜美術館条例をここに公布する。  
横浜美術館条例

### (設置)

第1条 美術文化の振興と市民の美術に関する学習、創作活動等に寄与するため、横浜美術館(以下「美術館」という。)を横浜市西区に設置する。  
(平元条例39・平10条例25・一部改正)

### (事業)

第2条 美術館は、次の事業を行う。  
(1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)の保管、調査研究、展示及び利用に関すること。  
(2) 美術に関する情報の収集及び提供に関すること。  
(3) 美術に関する調査及び研究に関すること。  
(4) 美術に関する市民の創作活動等の指導及び助言に関すること。  
(5) 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関すること。  
(6) 前各号の事業のための施設及び設備の提供に関すること。  
(7) その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

### (施設)

第3条 前条に掲げる事業を行うため、美術館に次の施設を置く。  
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室及びグランドギャラリー  
(2) 企画展示室、アトリエ及びレクチャーホール  
(3) 駐車場  
(平23条例23・一部改正)

### (開館時間等)

第4条 美術館の開館時間及び休館日は、規則で定める。

### (指定管理者の指定等)

第5条 次に掲げる美術館の管理に関する業務は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、指定管理者(同項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に行わせるものとする。  
(1) 美術館の施設の利用の許可等に関すること。  
(2) 特別利用(第9条第1項に規定する特別利用をいう。)の許可等に関すること。  
(3) 第2条に規定する事業の実施に関すること。  
(4) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。  
(5) その他市長が定める業務  
2 指定管理者は、横浜市の文化芸術の振興及び普及に関する施策の方針を理解し、美術に関する高度な専門的知識を有するとともに、美術品等の保管、調査研究及び展示、美術に関する講座等の開催その他美術文化の振興を図るための事業を自ら企画し、及び実施し、並びに市民による美術に関する学習、創作活動等に対する支援を行うものでなければならない。  
3 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を市長に提出しなければならない。  
4 市長は、前項の規定により提出された書類を審査し、かつ、実績等を考慮して、美術館の設置の目的を最も効果的に達成できると認められたものを指定管理者として指定する。  
5 市長は、指定管理者の候補者を選定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、第15条第1項に規定する横浜美術館指定管理者選定評価委員会(以下「選定評価委員会」という。)の意見を聴かななければならない。  
(平17条例69・追加、平23条例48・一部改正)

### (指定管理者の指定等の公告)

第6条 市長は、指定管理者の指定をしたとき、及びその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告しなければならない。  
(平17条例69・追加)

### (管理の業務の評価)

第7条 指定管理者は、市長が特別の事情があると認める場合を除き、その指定の期間において、第5条第1項各号に掲げる美術館の管理に関する業務について、選定評価委員会の評価を受けなければならない。  
(平23条例48・追加)

### (利用の許可)

第8条 第3条第2号に掲げる施設を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。  
2 指定管理者は、前項の許可に美術館の管理上必要な条件を付けることができる。  
3 指定管理者は、美術館の施設の利用が次のいずれかに該当する場合は、利用を許可しないものとする。  
(1) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。  
(2) 美術館の設置の目的に反するとき。  
(3) 美術館の管理上支障があるとき。  
(4) その他指定管理者が必要と認めたとき。  
4 第1項の許可の手續について必要な事項は、規則で定める。  
(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第5条線下・一部改正、平23条例48・旧第7条線下)

### (美術品等の特別利用の許可)

第9条 美術館に保管され、又は展示されている美術品等について、学術研究等のため、撮影、模写、模造、熟覧等(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。  
2 指定管理者は、前項の許可に美術品等の保全上及び美術館の管理上必要な条件を付けることができる。  
3 指定管理者は、特別利用が次のいずれかに該当する場合は、特別利用を許可しないものとする。  
(1) 美術品等の保全上支障があるとき。  
(2) 美術館の管理上支障があるとき。  
(3) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。  
(4) その他指定管理者が必要と認めたとき。  
4 第1項の許可の手續について必要な事項は、規則で定める。  
(平17条例69・旧第6条線下・一部改正、平23条例48・旧第8条線下)

### (利用料金)

第10条 常設展示室において、展示されている美術品等を観覧しようとする者は、指定管理者に対し、その利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を支払わなければならない。  
2 美術情報室において、美術情報機器を利用しようとする者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。  
3 レクチャーホールの利用について、第8条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。  
4 特別利用について、前条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。  
5 駐車場を利用する者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。  
6 第1項の利用料金にあつては別表第1に定める額の範囲内において、第2項の利用料金にあつては別表第2に定める額の範囲内において、第3項の利用料金にあつては別表第3に定める額の範囲内において、第4項の利用料金にあつては1点につき1回又は1日ごとに3,000円の範囲内において、前項の利用料金にあつては別表第4に定める額の範

園内において、指定管理者が市長の承認を得て定めるものとする。

7 第1項から第4項までの利用料金は、前納とする。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、後納とすることができる。

8 第5項の利用料金は、後納とする。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第7条線下・一部改正、平23条例23・一部改正、平23条例48・旧第9条線下・一部改正)

#### (利用料金の減免)

第11条 指定管理者は、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第8条線下・一部改正、平23条例48・旧第10条線下)

#### (利用料金の不返還)

第12条 既納の利用料金は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第9条線下・一部改正、平23条例48・旧第11条線下)

#### (許可の取消し等)

第13条 指定管理者は、第8条第1項及び第9条第1項の規定により許可を受けた者が次のいずれかに該当する場合は、当該許可を取り消し、又は施設の利用若しくは特別利用を制限し、若しくは停止させることができる。

(1) 第8条第3項各号又は第9条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(2) この条例若しくはこの条例に基づく規則の規定又はこれらに基づく指定管理者の処分に違反したとき。

(3) この条例に基づく許可の条件に違反したとき。

(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第10条線下・一部改正、平23条例48・旧第12条線下・一部改正)

#### (入館の制限)

第14条 指定管理者は、美術館の入館者が次のいずれかに該当する場合は、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1) 他の入館者に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。

(2) その他美術館の管理上支障があるとき。

(平17条例69・旧第11条線下・一部改正、平23条例48・旧第13条線下)

#### (横浜美術館指定管理者選定評価委員会)

第15条 指定管理者の候補者の選定、指定管理者による美術館の管理の業務に係る評価等について調査審議するため、横浜美術館指定管理者選定評価委員会を置く。

2 選定評価委員会は、市長が任命する委員10人以内をもって組織する。

3 前項に定めるもののほか、選定評価委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(平23条例48・追加)

#### (委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平17条例69・旧第13条線下、平23条例48・旧第14条線下)

#### 附則

この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成元年10月規則第96号により同年11月3日から施行)

附則(平成元年9月条例第39号)

この条例は、横浜美術館条例の施行の日から施行する。

附則(平成10年3月条例第17号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成10年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際既にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき施設の使用の申請を行っている者に係る当該施設の料金の納付等に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附則(平成13年2月条例第7号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附則(平成14年2月条例第5号)抄

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附則(平成17年6月条例第69号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の横浜美術館条例第12条の規定によりその管理に関する事務を委託している横浜美術館については、地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)附則第2条に規定する日までの間は、なお従前の例による。

附則(平成19年2月条例第6号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附則(平成23年3月条例第23号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附則(平成23年12月条例第48号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき公の施設の管理に関する業務を行っている指定管理者が、その指定の期間においてこの条例の施行の日前までにこの条例による改正後のそれぞれの条例の規定による当該業務についての評価に相当する評価を受けている場合にあつては、当該期間においては当該業務についての評価に係るこれらの規定は適用しない。

## 条例・施行規則

### 別表第1(第10条第6項)

(平10条例17・平13条例7・平17条例69・平19条例6・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		個人	団体(20人以上)
一般		500円	400円
大学生・高校生	1人1回につき	300円	240円
中学生・小学生		100円	80円

(備考)

- 「一般」とは、「大学生・高校生」、「中学生・小学生」及び小学校に就学するまでの者以外の者をいう。
- 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、専修学校若しくは各種学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 「中学生・小学生」とは、中学校、中等教育学校の前期課程、小学校若しくは特別支援学校の中学部若しくは小学部に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者をいう。
- 小学校に就学するまでの者は、無料とする。

### 別表第2(第10条第6項)

(平10条例17・平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
ビデオ学習システムブース		100円
名画鑑賞システムブース	1回につき	100円

### 別表第3(第10条第6項)

(平10条例17・全改、平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		平日	日曜日、土曜日及び休日
レクチャーホール	1日につき	20,000円	24,000円
附帯設備	1式、1台又は 1枚、1日につき	150,000円	

(備考)

- 「1日」とは、午前10時から午後9時までをいう。
- 「平日」とは日曜日、土曜日及び休日以外の日をいい、「休日」とは国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日をいう。
- レクチャーホール及び附帯設備の利用が、午前10時から午後9時までの時間以外の時間(以下「時間外」という。)にわたった場合の当該時間外に係る利用料金の額は、時間外における利用1時間につき、レクチャーホール及び利用する当該附帯設備の1日の利用料金の額にそれぞれ8分の1を乗じて得た額を合算して得た額とする。この場合において、時間外における利用時間が1時間未満のとき、又はこれに1時間未満の端数があるときは、その時間又は端数時間を1時間として計算する。

### 別表第4(第10条第6項)

(平23条例23・追加、平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
大型車	1台、30分につき	500円
その他のもの	1台、1時間30分まで	500円
	利用時間が1時間30分を超えるときは、超過時間30分までごとに250円を加算する。	

## 横浜美術館条例施行規則

平成元年10月25日

規則第97号

横浜美術館条例施行規則をここに公布する。

横浜美術館条例施行規則

### (趣旨)

第1条 この規則は、横浜美術館条例(昭和63年9月横浜市条例第44号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

### (開館時間)

- 第2条 横浜美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、次のとおりとする。
- 常設展示室、美術情報室、美術図書室、グランドギャラリー、企画展示室及びアトリエ 午前10時から午後6時まで
  - レクチャーホール 午前10時から午後9時まで
  - 駐車場 午前10時から午後9時まで(大型車にあつては、午前10時から午後6時まで)
- 2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、開館時間を変更することができる。
- (平23規則22・一部改正)

### (休館日)

- 第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。
- 木曜日。ただし、その日が、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときはその翌日とし、当該翌日が休日に当たるときは日曜日、土曜日及び休日のいずれにも当たらない直近の日とする。
  - 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで
- 2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、休館日に開館し、又は休館日以外の日に開館しないことができる。
- (平14規則32・一部改正)

### (指定申請書の提出等)

- 第4条 指定管理者の指定を受けようとするものは、指定申請書(第1号様式)を市長に提出しなければならない。
- 2 前項の申請書には、条例第5条第3項に規定する事業計画書及び次に掲げる書類を添付しなければならない。
- 定款、寄附行為、規約その他これらに類する書類
  - 法人にあつては、当該法人の登記事項証明書
  - 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の収支予算書及び事業計画書並びに前事業年度及び前々事業年度の収支計算書及び事業報告書
  - 美術館の管理に関する業務の収支予算書
  - その他市長が必要と認める書類
- (平17規則89・追加、平19規則47・一部改正)

### (施設の利用許可申請等)

- 第5条 条例第8条第1項の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は、利用許可申請書(第2号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
- 2 指定管理者は、企画展示室及びアトリエについては、指定管理者と共催して美術館の設置目的に合致する事業を行うため当該施設を利用しようとする団体に対し、利用を許可するものとする。
- (平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第4条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

### (申請の受付)

第6条 前条第1項の申請の受付は利用日の3箇月前の日の属する月の初日から行うものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。ただし、

指定管理者が主催し、又は共催して利用する場合は、この限りでない。  
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第5条繰下・一部改正)

#### (特別利用の許可申請)

第7条 条例第9条第1項の規定により特別利用の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書(第3号様式)を指定管理者に提出しなければならない。  
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第6条繰下・一部改正、平24規則16・一部改正)

#### (申請の受付)

第8条 前条の申請は特別利用をしようとする日の7日前までに行わなければならないものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。  
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第7条繰下)

#### (観覧券の発行)

第9条 指定管理者は、常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料を観覧しようとする者に対し、観覧券を発行するものとする。この場合において、観覧券の発行は、閉館時間の30分前まで行うものとする。  
2 前項に規定する観覧券は、利用料金と引換えに交付する。  
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第8条繰下・一部改正)

#### (美術情報機器の利用)

第10条 条例第10条第2項に規定する美術情報機器を利用しようとする者は、美術情報機器に備付けの料金受入機により利用料金を納付しなければならない。  
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第9条繰下・一部改正、平24規則16・一部改正)

#### (利用料金の後納)

第11条 条例第10条第7項ただし書に規定する規則で定める場合は、国又は地方公共団体が利用する場合とする。  
(平10規則42・旧第11条繰上・一部改正、平17規則89・旧第10条繰下・一部改正、平23規則22・平24規則16・一部改正)

#### (利用料金の減免)

第12条 条例第11条に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、免除する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。この場合において、その額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。  
(1) 教職員に引率された横浜市内の小学校(特別支援学校の小学部を含む。)若しくは中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)の児童若しくは生徒又は各種学校の小学校若しくは中学校に相当する課程に在学する者の団体及びそれらの引率者が、教育上の目的から常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料の観覧(以下「常設展の観覧」という。)をする場合 利用料金の全額  
(2) 土曜日に、小学校(特別支援学校の小学部を含む。)、中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)若しくは高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の児童若しくは生徒、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校の小学校、中学校若しくは高等学校に相当する課程に在学する者又はこれらに準ずると認められる者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額  
(3) 教職員に引率された横浜市内の高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の生徒又は高等専門学校、

専修学校若しくは各種学校の高等学校に相当する課程に在学する者の団体及びそれらの引率者が教育上の目的から常設展の観覧をする場合 利用料金の半額

(4) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法(昭和22年法律第164号)第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法(昭和35年法律第37号)第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害との判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者の介護者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額

(5) 国又は地方公共団体がレクチャーホールを利用する場合 利用料金の全額  
(平7規則45・平8規則20・一部改正、平10規則42・旧第12条繰上・一部改正、平11規則28・平13規則36・平17規則31・一部改正、平17規則89・旧第11条繰下・一部改正、平19規則47・平24規則16・一部改正)

#### (利用料金の返還)

第13条 条例第12条ただし書に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、返還する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。  
(1) 常設展の観覧、美術情報機器及びレクチャーホールの利用並びに美術品及び美術に関する資料の特別利用について、観覧、利用及び特別利用をする者の責めに帰することができない事由によりこれらの行為ができなくなった場合 既納の利用料金の全額  
(2) レクチャーホールの利用の許可を受けた者が利用日の30日前までに利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額  
(3) 特別利用の許可を受けた者が利用日の前日までに特別利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額  
(平10規則42・追加、平17規則89・旧第12条繰下・一部改正、平24規則16・一部改正)

#### (委任)

第14条 この規則の施行に関し必要な事項は、文化観光局長が定める。  
(平10規則42・旧第14条繰上、平17規則89・旧第13条繰下・一部改正、平18規則84・平22規則29・平23規則22・一部改正)

#### 附則

この規則は、平成元年11月3日から施行する。

附則(平成4年9月規則第88号)

この規則は、平成4年9月12日から施行する。

附則(平成6年3月規則第41号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

(経過措置)

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の(中略)規定により作成されている様式書類は、この規則の施行の日から1年間は、適宜修正の上使用することができる。

附則(平成7年3月規則第45号)

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附則(平成8年3月規則第20号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附則(平成10年3月規則第42号)

(施行期日)

1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則による改正後のそれぞれの規則の規定は、この規則の施行の日以後の申請に係る料金の減免及び返還について適用し、同日前の申請に係る料金の減免及び返還については、なお従前の例による。

## 条例・施行規則

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前のそれぞれの規則の規定により作成されている様式書類は、なお当分の間、適宜修正の上使用することができる。

4 前2項に定めるもののほか、この規則の施行について必要な事項は、市長が定める。

附則(平成11年3月規則第28号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附則(平成13年3月規則第36号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附則(平成14年3月規則第32号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附則(平成17年3月規則第31号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則(平成17年6月規則第89号)

この規則は、公布の日から施行する。

附則(平成18年3月規則第84号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

5 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則(平成19年3月規則第47号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則(平成22年3月規則第29号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

6 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則(平成23年3月規則第22号)

この規則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、第14条の改正規定は、平成23年5月1日から施行する。

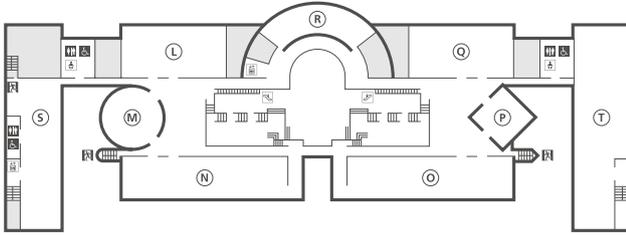
附則(平成24年3月規則第16号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

※様式省略

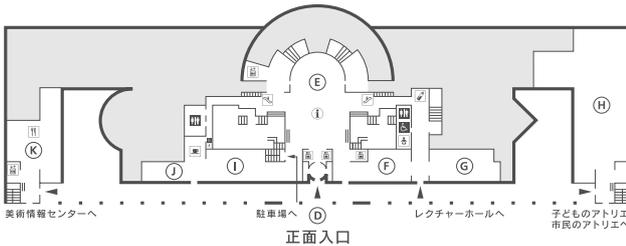
## 施設概要・利用案内

### 3F



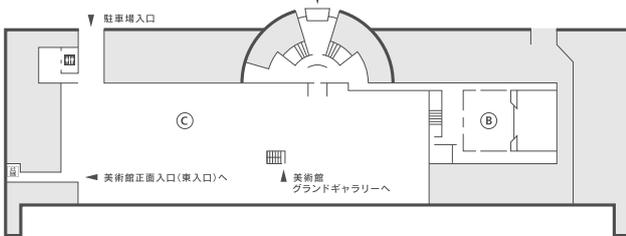
- ①-② 展示室
- ③ 美術情報センター
- ④ 市民のアトリエ

### 2F



- ⑤ 正面入口
- ⑥ 子どものアトリエ
- ⑦ グランドギャラリー
- ⑧ ミュージアムショップ
- ⑨ アートギャラリー2
- ⑩ カフェ
- ⑪ アートギャラリー1
- ⑫ レストラン

### 1F



- ⑬ 西入口
- ⑭ レクチャーホール
- ⑮ 駐車場

## 建築概要

敷地面積 19,803m<sup>2</sup>  
 建築面積 9,621m<sup>2</sup>  
 延床面積 26,829m<sup>2</sup>  
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造8階建(一部3階建)  
 外装 花崗岩張り、アルミ成型板張り、軽量コンクリート金ゴテ押さえ、断熱セメントブロック敷込み、金属成型板張り  
 内装 岩綿吸音板、プラスターボード、フレキシブルボード、金属成型パネル、花崗岩張り、フローリング板張り  
 設計 丹下健三・都市・建築設計研究所  
 監理 横浜市建築局、丹下健三・都市・建築設計研究所  
 施工 建築工事:JV(竹中工務店、清水建設、奥村組、東急建設、佐藤工業、奈良建設ほか計18社)

## 休館日

木曜日(祝日を除く)、木曜日に祝日開館した場合はその翌日、年末年始。

## 開館時間

展覧会:10:00~18:00(入館は17:30まで)  
 美術情報センター:10:00~18:00(入室および各種利用受付は17:30まで)  
 \*次の施設は利用時間が異なります。  
 ミュージアムショップ:11:00~18:00  
 Café小倉山:10:45~18:00(ラストオーダー17:30)  
 駐車場:10:00~21:00/収容台数:169台  
 有料(最初の90分500円、以降30分毎に250円)

## 観覧料

コレクション展: 一般	500 (400) 円
大学・高校生	300 (240) 円
中学生	100 (80) 円
小学生以下	無料

企画展: 展覧会ごとに異なる

( )内は有料20名以上の団体料金(要事前申込)

## 交通案内

### 電車:

みなとみらい線(東急東横線直通)を利用の場合:  
 みなとみらい駅下車、3番出口からマークイズみなとみらい(グランドギャラリー)経由、徒歩3分。または(マークイズ連絡口)(10:00~)徒歩5分。  
 JR、横浜市営地下鉄を利用の場合:  
 桜木町駅下車(動く歩道)を利用、徒歩10分。

### 車:

桜木町駅から日本丸方面へ入る。または桜木町駅前から紅葉坂交差点を右折してMM21地区へ入り、美術館へ。横浜駅からは高島町MM21地区入口を通って美術館へ。いずれも3~5分(首都高速「みなとみらい出入口」も利用できます)。

**平成27年度 横浜美術館年報**

平成28年6月30日発行

編集・発行：横浜美術館  
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1  
TEL:045-221-0300(代) FAX:045-221-0317  
<http://yokohama.art.museum>

デザイン：峯石景子  
印刷・製本：山陽印刷株式会社

© Yokohama Museum of Art 2016

